

# 平成 20 年度事業報告書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

平成 20 年度事業は、2008 年 5 月 17 日開催の第 39 回理事会・第 36 回評議員会において承認された事業計画書に基づいて下記の通り実行した。当財団は発足以来約 550 名の研修生助成の実績を有するに至ったが、留学セミナー開催等による留学情報の提供が広い地域の留学希望者に役立っており、財団の意図した成果を確実に挙げつつある。また世界的な金融危機の影響を少なくするため、従来以上に賛助会費・寄附等による募金活動を広げると共に、人員削減による経費削減の努力も行った。これらの努力の結果、前年度に続きシリーズ日米医学医療交流 N.o.7 として「家庭医学・総合診療医療にみる医学留学へのパスポート」を発行し、留学助成活動の更なる発展を期すことができた。

## 平成 20 年

1. 4 月末 ピッツバーグ・ジャパン・プログラム(PJP)の助成を変更し、国内で 7 月に開催した。
2. 4 月 25 日(金)～26 日(土) 第 19 回日本臨床モニター学会総会の助成\* (於:東京)
3. 4 月 30 日(水) 平成 20 年度 JANAMEF 留学助成(A 項・B 項)追加応募締切り
4. 5 月 17 日(土) 平成 20 年度 JANAMEF 留学助成(A 項・B 項)追加選考 (於:東京)
5. 5 月 17 日(土) 平成 20 年度第 1 回理事会・評議員会 (於:東京)
6. 5 月 17 日(土) JANAMEF ニュース発行(Vol.32)
7. 5 月 28 日(水)～30 日(金) 第 45 回日本小児外科学会学術集会の助成\* (於:つくば)
8. 6 月 27 日(水)～30 日(土) 日米シミュレーション医学教育合同シンポジウムの助成中止
9. 7 月 平成 20 年度賛助会費及び寄附金依頼
10. 7 月 「家庭医学・総合診療にみる医学留学へのパスポート」発行
11. 7 月 18 日(金) JANAMEF20 周年記念講演会・祝賀会 (会場:学士会館)
12. 7 月 19 日(土)～21 日(月) JANAMEF20 周年特別企画 PJP の助成 (於:東京)
13. 7 月 19 日(土)～20 日(日) 第 8 回呼吸療法セミナーの助成\* (於:神奈川)
14. 7 月 26 日(土) 日米医学医療交流セミナー「看護セミナー」 (於:東京)
15. 7 月 27 日～28 日 西太平洋地区医学教育連盟 2008 年代表者会議の助成\* (於:東京)
16. 8 月 20 日(水)～27 日(水) ハワイ医学英語集中授業の助成 (於:米国ハワイ)
17. 9 月 30 日(火) 平成 20 年度前期 JANAMEF 留学助成(B 項)応募締切り・選考
18. 9 月 30 日(火) 環太平洋アジア基金留学助成応募締切り・選考 (於:東京)
19. 10 月 11 日(土) 日米医学医療交流セミナー「医学留学セミナー」 (於:東京)
20. 10 月 12 日(日)～19 日(日) 第 5 回アメリカ短期看護研修の助成 (於:米国オレゴン)
21. 10 月 17 日(金) 2008 年度秋田県国際医療交流事業の助成\* (於:秋田)
22. 10 月 25 日(土)～26 日(日)第 34 回日本体外循環技術医学会大会の助成\* (於:横浜)
23. 10 月 29 日(水)～31 日(金) 第 26 回日本骨代謝学会学術集会の助成\* (於:大阪)
24. 12 月 6 日(土)～7 日(日) 第 1 回日本統合医療学会\* (於:福岡)

## 平成 21 年

25. 1 月 20 日(火) JANAMEF ニュース発行(Vol.33)
26. 3 月 7 日(土) 第 9 回葉山ハートセミナーの助成\* (於:神奈川)
27. 3 月 14 日(土) 平成 20 年度第 2 回理事会・評議員会 (於:東京)
28. 3 月 31 日(土) 平成 20 年度 JANAMEF 留学助成(A 項・B 項)応募締切り

\*は団体助成

## (一)平成 20 年度事業報告詳細

平成 20 年度事業計画に基づき、1～28 の事業を試行したので報告する。

1. 4 月予定のピッツバーグ・ジャパン・プログラムは、場所を東京に変更して7月に開催された(詳細は JANAMEF20 周年特別企画を参照)。

2. 4 月 25 日(金)～26 日(土) 第 19 回日本臨床モニター学会総会の助成 (於:東京)

4 月 25 日 9:30 ～ 10:00 会長講演

東京女子医科大学 教授 尾崎 眞

4 月 25 日 10:00 ～ 11:00 招待講演

Massachusetts General Hospital Julian M. Goldman MD

4 月 25 日 12:00 ～ 12:30 ランチョンセミナー「心理学から見た脈波波形の非線形解析による心的ストレスの定量的計測」

関西学院大学総合心理科学科 教授 雄山 真弓

4 月 25 日 13:00 ～ 15:00 パネルディスカッション 「アウトカムを変えるモニタリング」

パネリスト:

東京女子医科大学脳神経外科 教授 伊関 洋

東京女子医科大学附属青山病院 院長 川名 正敏

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 讃岐 美智義

東京女子医科大学病院臨床工学技師主任 南 茂

司会:

東京女子医科大学麻酔科 教授 尾崎 眞

東京女子医科大学麻酔科 教授 野村 実

4 月 26 日 10:00 ～ 10:40 教育講演1 「工学サイドから提言するこれからの生体モニター」

武蔵工業大学工学部生体医工学科 教授 石島 正之

4 月 26 日 10:40 ～ 11:20 教育講演2 「侵襲的モニターに用いる針の知識」

東海大学東海大学医学部外科学系麻酔科部門 教授 鈴木 利保

4 月 26 日 11:20 ～ 12:00 教育講演3 「我が国における 21 世紀型病院前救急医療」

愛知医科大学病院高度救命救急センター 副院長・教授 野口 宏

4 月 26 日 12:00 ～ 12:30 教育講演4 「レミフェンタニルを併用した麻酔中の脳波について」

大阪大学大学院医学系研究科 麻酔集中治療医学講座 萩平 哲

4月26日 15:00～17:00 シンポジウム「上気道閉塞のメカニズムとモニタリング」～ 歯科麻酔の困難性

司会:杏林大学医学部麻酔科准教授 飯島 毅彦

コメンテータ:千葉大学医学部麻酔科准教授 磯野 史朗

1. 歯科臨床における気道確保 東京医科歯科大学麻酔生体管理学准教授 小長谷 光
2. 障害者歯科における上気道閉塞の管理 東京都立東部療育センター歯科医長 中村 全宏
3. 睡眠時無呼吸症候群患者の管理 神奈川歯科大学附属病院 麻酔科講師 有坂 博史
4. 麻酔・鎮静による上気道閉塞 - 麻酔鎮静薬の舌下神経と横隔神経活動に及ぼす影響  
埼玉医科大学医学部麻酔科准教授 中村 信一
5. 上気道閉塞のメカニズムと代償機能について 長崎大学歯学部歯科麻酔学准教授 鮎瀬 卓郎
6. 上気道閉塞の神経性調節機構大阪歯科大学歯科麻酔学講座 松田 佳子

3. 4月30日(月) 平成20年度 JANAMEF 研修・研究助成(A項・B項)追加応募締切り

4. 5月17日(土)平成20年度 JANAMEF 研修・研究助成(A項・B項)追加選考(於:東京)

5. 5月17日(土) 平成20年度第1回理事会・評議員会を開催した。(会場:ホギメディカル)

第1号議案の審議	平成20年度理事1名交代及び1名退任の件	資料1
第2号議案の審議	平成19年度事業報告承認の件	資料2
第3号議案の審議	平成19年度決算報告の件(監査報告)	資料3
第4号議案の審議	平成20年度事業計画の件	資料4
第5号議案の審議	平成20年度収支予算の件	資料5
財団20周年記念講演・祝賀会		資料6

6. 5月17日 JANAMEF ニュース発行(No.32)

7. 5月28日(水)～30日(金) 第45回日本小児外科学会学術集会の助成 (於:つくば)

会期:5月28日(水)～30日(金)

会場:つくば国際会議場

会長:筑波大学臨床医学系小児外科教授 金子 道夫

1. 一般演題(公募):口演、示説、ビデオ
2. 要望演題、シンポジウム、パネルディスカッション:口演、示説、ビデオ(公募、一部指定)

要望演題 1 低出生体重児の外科治療

要望演題 2 小児外科医を取り巻く状況 倫理的問題

要望演題 3 こども虐待

要望演題 4 小児外科医と悪性腫瘍

シンポジウム 1 発生過程の解明と先天性疾患

シンポジウム 2 再生医療の進歩

シンポジウム 3 新しい治療法の開発と臨床応用への道

シンポジウム 4 小児外科医療を取り巻く環境—小児外科医療の未来像を探る

ビデオシンポジウム

日本内視鏡外科学会技術認定審査に向けて：腹腔鏡下噴門形成術—私の標準術式

ポスターパネルディスカッション —小児外科を取り巻く環境—

3. 国際セッション(公募、一部指定)

4. 特別講演等

招待講演 エンドセリンとヒルシュスプルング病 —エンドセリン、オレキシンの発見と、病態への結びつき—

(University of Texas Southwestern Medical Center 柳沢正史教授)

特別講演 1 発生の要、モーター分子群 Kinesin superfamily proteins, KIFs  
(東京大学医科学系研究科 細胞生物学・解剖学講座 廣川信隆教授)

特別講演 2 失われた機能をどう補うか ロボットスーツの開発  
(筑波大学大学院システム情報工学研究科 山海嘉之教授)

特別講演 3 タクロリムス(FK506)発見とプログラムの開発  
(前アステラス製薬研究本部 副本部長 後藤俊男氏)

基調講演 シンポジウム 1 発生過程の解明と先天性疾患  
胆管系と膵臓の発生過程を制御する分子機構

(筑波大学臨床医学系小児科 須磨崎 亮教授)

基調講演 シンポジウム 1 発生過程の解明と先天性疾患  
胚期における胃と腸の形成 —消化器官の形態形成と細胞分化の分子機構—

(帝京平成大学薬学部 八杉貞雄教授)

基調講演 シンポジウム 2 再生医療の進歩  
幹細胞から癌を読み解く —cancer stem cell という概念—

(横浜市立大学大学院医学研究科 再生医学講座 谷口英樹教授)

基調講演 シンポジウム 2 再生医療の進歩  
*in situ* Tissue Engineering の神経再生治療への臨床応用

(京都大学再生医科学研究所 臓器再建応用分野 中村達雄准教授)

基調講演 要望演題 4 虐待  
こども虐待の理解と対応

(筑波大学大学院人間総合科学研究科 宮本信也教授)

5. 会長講演 小児がんとともに 30 年 金子道夫

6. 平成 20 年度日本小児外科学会 倫理安全管理講習会 5 月 30 日(金)18:00~18:45

会場：つくば国際会議場 エポカルつくば 3 階 中ホール 300

主催：日本小児外科学会 倫理安全管理委員会

座長：河原崎秀雄(自治医科大学 移植外科学教授)

演者：小林弘幸(順天堂大学 病院管理学研究室教授)

題名：医療の現場から何を学ぶのか～守りの美学

7. 卒後教育セミナー 5 月 30(金), 31 日(土)

会場：つくば国際会議場 エポカルつくば 4 階 中会議室 406 号

8. 市民公開講座 5月31日(土)

会場：つくば国際会議場 エポカルつくば 3階 中ホール 300

9. 会員懇親会 5月29日(木)

8. 6月27日(水)～30日(土) 日米シミュレーション医学教育合同シンポジウム助成中止

今後の計画予定

■ 2008年度

産官学の協働体制で技術・ノウハウを開発・蓄積し、広く情報を提供することを目的に第2回日米シミュレーション医学教育合同シンポジウムをハワイ大学で開催する。

■ 2009年度

ハイテク・シミュレーション医学教育の大学・医療現場への普及を促し、医療の質向上・安全確率と医療の信頼性回復を図る。

年次集会・国際シンポジウムを定期開催し、「テクノロジー応用シミュレーション日本医学教育システム学会」－ 英文名:「Japan Society for Medical Instruction System」(仮称)の設立を図る。

9. 7月 賛助会費及び寄附金依頼状の送付(第1回)

10. 7月 「家庭医学・総合診療医療にみる医学留学へのパスポート」発行

11. 7月18日(金) JANAMEF20周年記念講演会・祝賀会 (会場:学士会館)

2008年7月18日(金) 17:00—20:00 (受付16:30) 学士会館

総合司会:財団常務理事 野村 実

挨拶: 17:00

財団会長 小玉 正智

厚生労働省 外口 崇 医政局長

記念講演: 17:20 司会:財団顧問 鍋谷欣市

財団理事長 宮坂 勝之

「財団の二十年間の歩みと今後の展望」

休憩・移動:18:00—18:10

祝賀会:18:10—20:00

来賓祝辞:

日本医師会 唐澤 祥人 会長

文部科学省 荒木 一弘 医学教育課長

昭和電工(株) 大橋 光夫 会長

日本光電工業(株) 荻野 和郎 会長

記念演奏:

パシフィック・モダン 山下美音理・山下いずる (20分)

乾杯:

内閣特別顧問 黒川 清 教授

来賓祝辞:

日米教育委員会 David H. Satterwhite, Ph.D.

東京女子医科大学 高倉 公朋 顧問

ピッツバーグ大学PJPプログラム代表 Kenneth Lee, M.D.

謝 辞: 財団専務理事 伴 信太郎

## 12. 7月19日(土)~21日(月) JANAMEF20周年特別企画

ピッツバーグ・ジャパン・教育プログラム(会場:クロス・ウエーブ中野)

### Saturday July 19, 2008

9:15am-9:45am Registration 9:45 am-10:00am Opening remarks (Kodama)  
10:00 am-10:15am Introduction of the Pittsburgh team  
10:15am-11:00am Overview of the US medical education (Akatsu)  
11:00am-12:15pm Demonstration of a case based session with comments in Japanese  
12:15-1:30pm Lunch  
1:30pm-3:00pm Small group sessions:  
    ~"Saw One, and Now Do One" Case Based Session 1~  
        English Sessions           1. Lee  
                                      2. Tulsky  
                                      3. Ogilvie  
        Japanese Sessions       4. Matsubara  
                                      5. Akatsu

\*Approximately equal number of students, residents and faculty to be in each group

3:00pm-3:15pm Break

3:15-4:45pm Small group sessions:  
    ~"Saw One, and Now Do One" Case Based Session 2~  
        English Sessions           1. Lee  
                                      2. Tulsky  
                                      3. Ogilvie  
        Japanese Sessions       4. Matsubara  
                                      5. Akatsu

\*Approximately equal number of students, residents and faculty to be in each group

6:00pm- Welcoming dinner party

### Sunday July 20, 2008

9:00am-9:45am Internal medicine residency training in the US:  
    A program director's point of view (Tulsky)  
9:45am-10:30am Surviving the US internal medicine residency training  
    and beyond (Matsubara)  
10:30am-10:45am Break  
10:45am-11:30am The making of a surgeon: Surgery training in the US,  
    a director's point of view (Lee)  
11:30am-12:15pm Surviving the US surgical residency training (Ogilvie)

12:15pm-1:30pm Lunch  
 1:30pm-3:00pm Small group sessions:  
     ~Pittsburgh Staff as a Patient: Simulated Cased Based Session 1~  
     English Sessions           1. Lee  
                                       2. Tulsky  
                                       3. Ogilvie  
     Japanese Sessions       4. Matsubara  
                                       5. Akatsu

\*Approximately equal number of students, residents and faculty to be in each group

3:00pm-3:15pm Break  
 3:15pm-4:45pm Small group sessions:  
     ~Pittsburgh Staff as a Patient: Simulated Cased Based Session 2~  
     English Sessions           1. Lee  
                                       2. Tulsky  
                                       3. Ogilvie  
     Japanese Sessions       4. Matsubara  
                                       5. Akatsu

\*Approximately equal number of students, residents and faculty to be in each group

6:00pm Dinner

Monday July 21, 2008

9:00am-10:15am Session A 1 (students and residents) Q & A (Lee, Akatsu)  
                   Session B 1 (faculty) Q & A (Tulsky, Ogilvie, Matsubara)  
 10:15am-10:30am Break  
 10:30am-11:45am Session A 1 (students and residents)Q & A (Tulsky, Ogilvie, Matsubara)  
                   Session B 1 (faculty) Q& A (Lee, Akatsu)  
 11:45am -12:00pm Closing remarks (Katayama)

**13. 7月19日(土)~20日(日) 第8回呼吸療法セミナーin 湘南の助成 (於:神奈川)**

プログラム1日目(7月19日)

8:30 受付開始  
 9:00 開会・挨拶・オリエンテーション・プレテスト  
 9:30 講義 ベンチレータの期設定・モニタリング(Ashworth 教授)  
 11:30 ランチョンセミナー初  
 12:30-14:30 ワークショップ1(侵襲的人工呼吸器・非侵襲的人工呼吸)  
           チェックインタイム  
 15:30 ワークショップ2(1と同じ内容)  
 17:30 ワークショップ終了  
 18:00 夕食・交流会

プログラム2日目(7月20日)

- 9:00 講義 PC モードについて/人工呼吸器による呼吸管理とウィニング(Ashworth 教授)  
 11:30 ランチョンセミナー  
 12:30 臨床シミュレーション(全体ディスカッション・2 日間の総仕上げ)  
 15:45 ポストテスト・表彰式  
 16:15 閉会

**14. 7月26日(土) 日米医学医療交流セミナー看護セミナー (会場:ホギメディカル)**

10:00	10:10	開会の辞	財団専務理事 伴信太郎(名古屋大学 医学部附属病院総合診療部教授)	
10:10	10:40	イントロ講演	山内豊明(名古屋大学基礎看護学講 座 教授)	看護におけるフィジカルアセスメ ント/米国にみる看護専門職の可 能性
10:40	11:40	長期留学・在留	吉田文子(山梨県立大学看護学部看 護教育学准教授)	長期在留からその後の活動へ
11:40	12:00	総合討論・質疑 応答	午前中演者全員	
12:00	13:00	昼食休憩		(ランチョン)
13:00	14:20	セミナー	松田栄子(株)ナインゲール ケア代表取締 役 長野千鶴(株)メディカルアソシア&自営	自立に向けて起業ナースに聞く
14:20	14:30	休憩		
14:30	15:00	財団研修報告	参加者(長野千鶴、他)	短期看護研修から学んだもの
15:00	15:10	留学支援案内	日米医学医療交流財団の留学ならび に短期研修企画支援について	
15:10	15:15	閉会の辞	財団理事 山内豊明	
15:20	16:30	懇親会		

**15. 7月27日(日)~28日(月) 西太平洋地区医学教育連盟代表者会議の助成(於:東京)**

Association for Medical Education in the Western Pacific Region (AMEWPR)

Advisory Board Meeting 2008

Agenda

July 27, 2008

Venue: Conference Room A, Tokyo Women's Medical University

Format: Open conference (Registered observers are attending the conference, tea  
breaks, lunch, but not dinner)

Program:

8:20 Departure from hotel

8:50~ 9:00 Opening remarks

Toshimasa Yoshioka

President, AMEWPR

Shunichi Miyazaki

President, Tokyo Women's Medical University

9:00~ 9:10

Participants and apologies

9:10~10:00

Acceptance of agenda

Opening Lecture

Quality assurance by use of WFME Global Standards (tentative title)

Hans Karle, President of the World Federation of Medical Education,  
University of Copenhagen, Denmark

Coffee Break

10:20~12:10

The Status of Medical School Accreditation among Regional Countries- Session 1  
(10 minute presentation + 5 minute discussion x 6 countries)

Lunch Break

13:30~14:30

The Status of Medical School Accreditation among Regional Countries- Session 2  
(10 minute presentation + 5 minute discussion x 4 countries)

Short Break

14:40~15:40

The Status of Medical School Accreditation among Regional Countries- Session 3  
(10 minute presentation + 5 minute discussion x 4 countries)

Japanese Tea Break

Japanese tea ceremony is provided by the medical school students.

16:30~17:30

Invited Lecture:

Accreditation of higher educational institutes in Japan and the World (tentative  
title)

Tsutomu Kimura

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation (NIAD-UE)

17:50

Departure from the conference site

18:30~

Dinner

July 28, 2008

Venue: Bamboo Room, The Four Seasons Hotel, Tokyo at Chinzan-so

Format:

Closed meeting

For advisory board members and consultants only

Program:

9:00~10:20

WHO Guidelines for Quality Assurance of the Basic Medical Education and WFME  
Global Standards, Application in the region

Coffee Break

10:40~12:00

Amendments to the constitution

Lunch Break

- 13:00~14:00 Reports from WHO-WPRO  
Mr. Ezekiel Nukuro  
Human Resources Development, World Health Organization Regional Office  
for the Western Pacific
- 14:00~15:00 Election of the next president and planning of future activities
- 15:00 Closing address  
Excursion to the Asakusa area (if time allows)
- 19:00~ Dinner

16. 8月20日(水)～27日(水) ハワイ医学英語集中授業の助成 (於:米国ハワイ)  
 2008 Medical English/Mini Residency Workshop Class Schedule (August 20 - 27, 2008)

		3			15			15				
		20-Aug	21-Aug-2008			22-Aug-2008			23-Aug	24-Aug		
		Wednesday	Thursday			Friday			Saturday	Sunday		
Meal Plan	Dinner	Meal Plan	Breakfast	Lunch	Dinner	Breakfast	Lunch	Dinner	Breakfast			
		Class	A	B	C	A	B	C	All			
From 9:00 am	Individual Check-In	8:30 am - 9:30 am	Medical English (809)	Communicating in English (810)	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Communicating in English (810)	Medical Ethics (GGT)	Free time	Free time		
Lunch	Own Arrangement								Pearl Harbor and Arizona Memorial 9:00 am - 12:00 pm			
Until 1:30 pm	Free time	9:40 am - 10:40 am	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Communicating in English (810) 15:00 - 19:00 Dinner English (810)	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Communicating in English (810)				

1:30 pm – 2:15 pm	Housing Orientation GGT (6f)	10:50 am – 11:50 am	Communicating in English (810)	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Communicating in English (810)	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Own Lunch	St. Luke's Clinic Ala Moana Building 20F 1:30 pm – 2:30 pm Dr. Kobayashi + Guest
2:20 pm – 2:45 pm	Program Orientation GGT (6F)		Straub Clinic	Academy	Capitol	UH Medical, Kakaako			Free time	
2:50 pm – 3:50 pm	Get to know activity	1:00 pm – 3:45 pm				Bus (Gomes/Grounds)				
4:00 pm – 4:20 pm	Opening Ceremony GGT (6F)									
4:30 pm – 6:00 pm	Special Lecture GGT (6F)	4:00 pm – 6:00 pm	Clinic Practice 1 (801) UH Medical Students			Clinic Practice 2 (801) UH Medical Students			English through Hula and Music 6:00 – 8:00	
6:10 pm – 7:00 pm	Dinner		Dr. Kobayashi	Dr. Furuta	Dr. Ogiwara	Dr. Furuta	Dr. Ogiwara	Dr. Kobayashi		
		7:00 pm – 8:00 pm	808	809	810	809	810	808		
Instructors		8:00 pm – 9:00 pm	Resident Workshop 1 (810)			Resident Workshop 2 (810)				

Medical English Dr. Doric Little

Communicati Dr. Francis  
ng in English Cabral

English through Hula and  
Music

Ms. Tammy  
Silva  
Ms.  
Toni-ann  
Nickens

**Straub** ← Mini  
**Clinic** Residency  
Program

	25-Aug Monday			26-Aug Tuesday			27-Aug Wednesday
Meal Plan	Breakfast	Lunch	Dinner	Breakfast	Lunch		
Class	A	B	C	A	B	C	Individually
8:30 am – 9:30 am	Medical English (809)	Communicatin g in English (810)	Medical Ethics (GGT)	Final Presentation (810) 9:00 – 10:30  (GGT)			Check Out 6:30 am – Noon
9:40 am – 10:40 am	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Communicating in English (810)				
10:50 am – 11:50 am	Communicati ng in English (810)	Medical Ethics (GGT)	Medical English (809)	Dr, Ken Kimura 11:00 – 12:00 (GGT)			
	Academy	Capitol	Straub Clinic	Capitol	Straub Clinic	Academy	

1:00 pm – 3:45 pm				
4:00 pm – 6:00 pm	Clinic Practice 3 (809 + 810) UH Medical Students			Free time
	Dr. Ogiwara	Dr. Kobayashi	Dr. Furuta	Closing Ceremony & Dinner @ The Willows (6:00–)
7:00 pm – 9:00 pm	810	808	809	
8:00 pm – 9:00 pm	Resident Workshop 3 (810)			

**17. 9月末 平成20年度 JANAM EFB 項助成の応募締切り・選考**

**18. 9月末 環太平洋アジア基金留学の助成応募締切り・選考**

**19. 10月11日(土) 2008年度日米医学医療交流セミナー これからの留学の新しい展開**

- 10:15~10:20 開会の辞 財団法人日米医学医療交流財団 理事長 宮坂 勝之  
10:20~12:30 午前の部. 米国での臨床研修に必要な準備  
10:20~11:20 留学のためのビザとファミリークラブ  
【講師】グローバル プロテクション株式会社 営業1課 山口 英人
- 11:20~12:20 スペシャルセッション USMLE 情報 Up To Date  
USMLE等資格試験の概要と実技試験の実演(英語)  
【講師】Kaplan Educational Center Japan 染谷信太郎
- 12:20~13:10 ー 昼食(60分)ー  
13:10~16:55 午後の部. 特別講演:米国への臨床留学希望者へのアドバイス  
【司会】財団 常務理事/東京女子医科大学麻酔科 教授 野村 実  
【司会】東京大学医科学研究所 探索医療ヒューマンネットワークシステム部門助教 田中祐次  
13:10~14:10 レジデント留学フェローへの道  
【講師】Clinical Fellow, Pulmonary, Allergy, Critical Care, and Sleep Medicine  
Department of Medicine University of Minnesota 永松 聡一郎  
14:10~15:10 米国における研究と臨床:  
【講師】Associate Professor, Department of Anesthesia and  
perioperative Care University of California, San Francisco 橋本 友紀  
15:10~15:40 臨床留学後のパスウェイ  
【講師】帝京大学医療情報システム研究センター センター長 中田 善規  
帝京大学医学部麻酔科学講座 教授  
ー 休憩(10分)ー  
15:50~16:50 総合討論  
16:50~16:55 閉会の辞 財団専務理事/名古屋大学医学部総合診療部 教授 伴 信太郎  
17:00~19:00 懇親会フェローの会(TWINSにて)  
海外留学をいかに活かすか?  
【司会】財団専務理事/名古屋大学医学部附属病院総合診療部 教授 伴 信太郎  
【司会】財団常務理事/京都大学大学院医学研究科救急医学分野 教授 小池 薫

**20. 10月12日(日)~19日(日)第5回アメリカ短期看護研修の助成 (於:米国オレゴン)**  
スケジュール(オレゴン州ポートランド市)

現地受入機関:Portland State University

日付	時間	予定	備考
10/12(日)	午後	成田発 空路ポートランドへ 航空機 ---(日付変更線)--- ポートランド着大学関係者の出迎え ホテルチェックイン オリエンテーション・キャンパスツアー ウエルカムランチと現地日本人ナースと交流 市内散策	University Place泊
10/13(月)	午前	レクチャー「アメリカのヘルスケアシステム」 (理想と現実・日米の相違) レクチャーと医療施設訪問	和泉 成子RN.PhD.
	午後	(プロヴィデンス・ポートランド・メディカル センター) 「ICUケア」「がん病棟」見学、 「マグネットホスピタルに於ける教育コーディネーターの役割」  * 懇親オプショナル夕食会(湖南)	University Place泊
10/14(火)	午前	レクチャー「看護者の視点からの最近のアメリカの医療システム」  レクチャーと医療施設訪問(AIDSホスピス)「Our House」と「ホスピス ケア」	Lee Paton RN.PhD.
	午後	レクチャー「院内感染予防」	University Place泊
10/15(水)	午前	医療機関訪問(テラログテラス高齢者施設) レクチャー「在宅ホスピスナース」 居住者と交流(折紙、習字など)	
	午後	ロイドセンターショッピングモール (昼食/フリータイム) レクチャー「End of Life」と「尊厳死」	Lee Paton
	夕刻	* オプショナル「オレゴンワイナリー」	University Place泊
10/16(木)	午前	レクチャーと医療施設訪問 「大学附属ドーンベッカー小児病院」 4. 患者サービス・リスクマネジメント 5. 質の管理・チャイルドケアスペシャリスト	
	午後	レクチャーと医療施設訪問 「サウスウェストワシントン病院」 (放射線治療センター)	
	夕刻	フリータイム	University Place泊
10/17(金)	午前	レクチャー「アメリカの高齢者ケア」 日帰りバスツアー 「モルトノマス滝」	Lee Paton
	午後	修了ランチ アウトレットモール・ショッピング	University Place泊
10/18(土)		ホテルロビー集合・チェックアウト 送迎用のバンにて空港へ ポートランド発 帰国の途へ 航空機 ----- (日付変更線) -----	機内泊
10/19(日)	午後	成田着 (着後解散)	

注 1: 上記プログラム内容のレクチャー、見学先の確定、運営は、該当医療機関、プログラムアドバイザーの協力のもと、さらに調整が行われます。

注 2: 医療施設見学及び看護レクチャーには、日本人看護関係者の通訳が付きます。

**21. 10月17日(金) 2008年度年秋田県・メイヨークリニック国際医療交流の助成**  
(会場:秋田ビューホテル)

開会挨拶(17:30)

西村 哲男 秋田県副知事

2007年事業報告(17:35)

司会:菊地 顕次 由利組合総合病院副院長

1. メイヨークリニック訪問研修団報告

2. 専門部会報告

- |            |       |             |
|------------|-------|-------------|
| (1) 泌尿器科部門 | 佐藤 一成 | 平鹿総合病院部長    |
| (2) 胸部外科部門 | 三浦 一樹 | 秋田赤十字病院内科部長 |
|            | 平山 克  | 平鹿総合病院副院長   |

招請講演(18:05)

<メイヨークリニックの秘密を探る>

講演 1

「メイヨークリニックの沿革と小児腫瘍医療モデル」

講師:キャローラA. S.アーント メイヨークリニック教授

～コメント、質疑応答～

講演 2

「血液がん医療の進歩と挑戦」

講師:テフェリーアヤルー クロード デシャン メイヨークリニック血液内科学教授

～コメント、質疑応答～

閉会挨拶(19:55)

小山田 雍 秋田県国際医療交流実行委員長  
秋田県医師会長

**22. 10月25日(土)～26日(日)第34回日本体外循環技術医学会の助成** (於:横浜)

1. 講演

- (ア) 社会復帰が可能な次世代型補助人工心臓  
山寄健二先生(東京女子医科大学医学部心臓血管外科)
- (イ) ヒューマンファクター工学から見た人工心肺装置  
河野龍太郎先生(自治医科大学医学部医療安全学)

2. ランチオンセミナー

- (ウ) 中国の体外循環情勢
- (エ) ドイツ生まれのミニサーキット
- (オ) オーストラリアの体外循環事情

3. シンポジウム
  - (カ) 災害と体外循環
  - (キ) ミニサーキットの未来
4. ワークショップ 新しい体外循環システム実演
  - (ク) 完全圧力制御型体外循環
  - (ケ) 超低充填量人工心肺システム
  - (コ) 貯血レベル自動制御人工心肺システム
  - (サ) 多用途ミニサーキット
  - (シ) CABG 用ミニサーキット
  - (ス) 体外循環技術教育用シミュレータシステム
5. パネルディスカッション
  - (セ) 大動脈手術の体外循環
  - (ソ) 極低体重児体外循環
6. ラウンドテーブルディスカッション 問題症例
  - (タ) 人工肺と PCPS のラブル
  - (チ) 凝固系異常
7. 一般演題
  - (ツ) IABP、VAS
  - (テ) CPB シミュレーター
  - (ト) 小児体外循環
  - (ナ) PCPS
  - (ニ) 安全装置と安全管理
  - (ヌ) 新開発デバイス
  - (ネ) 体外循環業務と教育
  - (ノ) 体外循環モニター、周辺機器
  - (ハ) 体外循環の電子記録
  - (ヒ) 体外循環の操作と工夫
  - (フ) 低侵襲、温度管理
  - (ヘ) 血液浄化
  - (ホ) デバイス評価、考案
8. 施設ビデオ見学ツアー 施設 20 分ほどのビデオ供覧
9. その他
  - (マ) ホスピタリティルーム 6 社
  - (ミ) 機器展示
  - (ム) 総会
  - (メ) 懇親会(ハーバーラウンジ、Jazz 演奏)
  - (モ) 実技セミナー(下記参照)

10月25日	第1会場	第2会場	第3会場
9:30	大動脈の体外循環	IABP VAS	
	パネルディスカッション1	(N1)9:30~10:15	
10:00	(P1)9:20~11:00	座長: 林 輝行 坂本亮 輔	
	座長: 吉田秀人 森田雅 教		
		CPB シミュレーター	
		(N2)10:15~11:00	
		座長: 大島 浩 玉城 聡	
11:00	次世代補助人工心臓	小児体外循環	
	教育後援 11:00~12:00	(N3)11:00~12:00	
	山寄健二先生	座長: 北本憲永 黒光弘 幸	
	司会: 吉井幸誠		
12:00	中国の体外循環		
	ランチョンセミナー1		
	(12:15~13:15)		
	JMS 司会: 南 茂		
13:00			
13:30	総会 13:15~13:45		
14:00	災害と体外循環		実演講演
	シンポジウム1		ワークショップ1回目
14:30	(S1)13:45~15:15		(W1)13:45~15:45
	座長: 吉田 靖 山田悌 士		座長: 安野 誠 高井浩司
			(二日目と同一内容)
15:30	PCPS	体外循環業務と教育	
	(N4)15:30~16:30	(N7)15:30~16:30	
	座長: 芦村浩一 永田和 之	座長: 日比谷 信 菌田 誠	
16:00			
16:30	安全装置と安全管理	モニター周辺機器	問題症例: 人工肺と PCPS のトラ ブル
	(N5)16:30~17:30	(N8)16:30~17:30	ラウンドテーブルディスカッション 1
	座長: 林裕樹 原 和信	座長: 堤 善光 出羽 仁	(R1)16:30~18:30
18:00	新開発デバイス	体外循環の電子記録	座長: 高平篤法 桜井 修
18:30	(N6)17:30~18:30	(N9)17:30~18:30	
	座長: 荒道昭男 竹内良 信	座長: 高道昭一 荒木康 幸	
18:45~	懇親会(18:45~ ) ハーバーラウンジにて		
10月26日	第1会場	第2会場	第3会場
9:00	極低体重児体外循環	体外循環操作と工夫	
	パネルディスカッション2	(N10)9:00~10:00	

9:30	(P2)9:00-10-30	座長:有田誠一郎 岡原重幸	
10:00	座長:中村智裕 古山義明		
10:30	安全工学と人工心肺	低侵襲 温度管理 (N11)10:00-11:00	実演講演
	と区別講演 10:45~11:45	座長:光家 努 武島智隆	ワークショップ二回目 (W2)10:00-12:00
11:00	河野龍太郎先生		座長:安野 誠 高井浩司
	司会:八木克史		(一日目と同一内容)
11:30			
12:00	ドイツのミニサーキット	豪州の体外循環	
	ランチョンセミナー2	ランチョンセミナー3	
	12:00-13:00	12:00~13:00	
	テルモ 司会:伊藤英史	メドトロニック 司会:関口敦	
13:00			
13:30	ミニサーキットの未来シンポジウム2	血液浄化	問題症例:凝固異常
	(S2) 13:00-15:00)	(N12) 13:00-14:00	ラウンドテーブル
	座長:鈴木一郎 又吉徹	座長:柚原利至 尾越 登	ディスカッション2
			(R2) 13:00~15:00
			座長:鷹橋 浩 菊池徹
		デバイス評価 考案	
		(N13) 14:00~15:00	
		座長:石川陽市 笹山幸治	
15:00	閉会式 15:00		

### 23. 10月29日(水)~31日(金) 第26回日本骨代謝学会学術集会の助成 (於:大阪)

会期:平成20年10月29日(水)~31日(金)

会場:大阪国際会議場

会長:松本 俊夫(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学 教授)

海外招聘講演 \*English Session

“Bone Development and Disease is controlled by AP-1 (Fos/Jun)”

10月29日(水)15:00-16:00 (第1会場 1003会議室)

座長:加藤 茂明(東京大学 分子細胞生物学研究所 核内情報研究分野)

演者:Erwin F. Wagner(Cancer Cell Biology Program, Spanish National Cancer Centre (CNIO), Spain)

特別講演

「iPS細胞の展望と課題」

10月29日(水)14:00-15:00 (第1会場 1003会議室)

座長:山口 朗(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 口腔機能再建学講座 口腔病理学分野)

演者:山中 伸弥(京都大学 iPS細胞研究センター/再生医科学研究所)

### ミニシンポジウム1「リン代謝と FGF23」

10月29日(水)8:50-10:20 第3会場(特別会議場)

座長: 福本 誠二 (東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科)

宮本 賢一 (徳島大学 医学部 病態栄養学)

「生体内でのリンの役割とリン酸トランスポーターの機能」

伊藤 美紀子 (徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部)

「血中リン濃度の調節機構」

鈴木 敦詞 (藤田保健衛生大学 医学部 内分泌内科)

「FGF23 とリン代謝異常症」

大藪 恵一 (大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学)

「Klotho とミネラル代謝」

浦川 到 (キリンファーマ(株) 探索研究所)

### ミニシンポジウム2「(あり方委員会企画)骨格系細胞研究—最前線からのレポート」

10月29日(水)10:20-11:50 第3会場(特別会議場)

座長: 高柳 広 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子情報伝達学)

西村 理行 (大阪大学歯学部 生化学講座)

「破骨細胞の分化ステージ特異的な NFATc1 の機能解析」

中島 友紀 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学)

「Hes1 と Hes3 は骨芽細胞の Osteoprotegerin 発現促進を介して骨吸収を制御し骨量を維持する」

前田 真吾 (財団法人癌研究会 癌研究所 生化学部)

“RUNX2 Gain of Function in Mesenchymal Cells enhanced Bone Formation but Inhibited Cartilage Formation and Limb Development.”

Carolina A. Yoshida (Department of Cell Biology, Unit of Basic Medical Sciences, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki, Japan)

「脂肪細胞・骨芽細胞分化を制御するシグナル因子群の解析」

高田 伊知郎 (東京大学 分子細胞生物学研究所 核内情報研究分野)

「転写因子 Sox9 を基盤とした内軟骨性骨化分子メカニズムの解明」

波多 賢二 (大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室)

### ミニシンポジウム3「光イメージングの進歩と骨代謝研究」

10月29日(水)16:00-17:30 第3会場(特別会議場)

座長: 宮脇 敦史 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)

今村 健志 (財団法人癌研究会癌研究所 生化学部)

「蛍光タンパク質技術」

宮脇 敦史 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)

「蛍光プローブの精密設計に基づく、活性酸素・がんの高選択的蛍光イメージング」

浦野 泰照 (東京大学大学院 薬学系研究科)

「分光を利用したイメージング技術」

石原 美弥 (防衛医科大学校 医用工学講座)

「骨とがんのインビボ光イメージング」

今村 健志 (財団法人癌研究会癌研究所 生化学部)

### ミニシンポジウム4「癌と骨病変」

10月29日(水)17:30-19:00 第3会場(特別会議場)

座長: 米田 俊之 (大阪大学大学院 歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座/生化学教室)

今村 健志 (財団法人癌研究会癌研究所 生化学部)

“Whole body 2D and 3D Optical Imaging Alone or in Combination with Fast

CT and its Applications in Studying Bone Metastasis.”

Clemens W.G.M. Lowik (Department of Endocrinology, Leiden University Medical Center, The Netherlands)

「前立腺癌の骨転移に関わる破骨細胞とIGFの働き」

落合 淳志 (国立がんセンター東病院 臨床開発センター 臨床腫瘍病理部)

「骨髄由来細胞によるがん関連ニッチ形成機構」

服部 浩一 (東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター)

「骨微小環境における前立腺癌の増殖機構: TGF $\beta$  とプロテアーゼの関与」

二口 充 (名古屋市立大学大学院 医学研究科 分子毒性学)

#### ミニシンポジウム5「転写因子」

10月30日(木)8:50-10:20 第3会場(特別会議場)

座長: 加藤 茂明 (東京大学 分子細胞生物学研究所 核内情報研究分野)

小守 壽文 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 生命医科学講座 細胞生物学分野)

「骨形成におけるRunx2とOsterixの機能の違い」

小守 壽文 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 生命医科学講座 細胞生物学分野)

“Expression of Runx2 Transcription Factor in Nonskeletal Tissues”

Je-Yong Choi (Department of Biochemistry and Cell Biology, Skeletal Diseases Genome Research Center, School of Medicine, Kyungpook National University, Korea)

「転写因子による軟骨細胞分化の制御」

斎藤 琢 (東京大学 医学部 整形外科)

「ビタミンDレセプターの転写制御におけるクロマチン構造変換の役割」

北川 浩史 (東京大学 分子細胞生物学研究所 核内情報)

#### ミニシンポジウム6「リウマチと骨」

10月30日(木)10:20-11:50 第3会場(特別会議場)

座長: 宗圓 聰 (近畿大学医学部 奈良病院 整形外科・リウマチ科)

田中 良哉 (産業医科大学 医学部 第1内科)

「骨破壊を標的にした関節リウマチ治療」

田中 栄 (東京大学 医学部 整形外科)

「関節リウマチにおける骨折リスクの検討: 大規模前向き観察コホート研究(IORRA)から分かったこと」

古谷 武文 (東京女子医大附属膠原病リウマチ痛風センター)

「関節リウマチに対する骨折予防のための介入-骨粗鬆症治療薬-」

中山 久徳 (独立行政法人国立病院機構相模原病院リウマチ科)「関節リウマチに対する骨破壊、骨粗鬆化予防のための介入-関節リウマチ治療薬-」

齋藤 和義 (産業医科大学 医学部 第一内科学講座)

#### ミニシンポジウム7「Wntシグナルと骨代謝」

10月30日(木)16:00-17:30 第3会場(特別会議場)

座長: 大藪 恵一 (大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学講座)

高田 伊知郎 (東京大学 分子細胞生物学研究所 核内情報研究分野)

“A New Paradigm in the Treatment of Osteoporosis - Wnt Pathway Proteins and Their Antagonists.”

Clemens W.G.M. Lowik (Department of . Endocrinology, Leiden University Medical Center, The Netherlands)

「Non-canonical Wntシグナルの骨代謝機能」

高田 伊知郎 (東京大学 分子細胞生物学研究所 核内情報研究分野)

「Canonical Wnt 経路と骨代謝」

道上 敏美 (大阪府立母子保健総合医療センター研究所 環境影響部門)

“Mechanotransduction in Bone Requires Wnt Signaling”

Charles Turner (Chancellor's Professor, Biomedical Engineering and Orthopaedic Surgery Indiana University)

ミニシンポジウム8「(あり方委員会企画)骨代謝異常症の診断治療 Update」

10月30日(木)17:30-19:00 第3会場(特別会議場)

座長: 安倍 正博(徳島大学大学院 生体情報内科学)

福本 誠二(東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科)

「Involutional Osteoporosis」

茶木 修(横浜市立大学 医学部 産科婦人科学教室)

「ステロイド骨粗鬆症の病態と治療戦略」

岡田 洋右(産業医科大学 医学部 第一内科)

「多発性骨髄腫の骨病変成立機序と治療への展望」

矢田 健一郎(徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学)

「FGF23 関連疾患の病態と治療への展望」

伊東 伸朗(東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科)

「Skeletal Dysplasia」

難波 範行(大阪大学大学院 医学研究科 小児科学講座)

ミニシンポジウム9「(あり方委員会企画)炎症・再生と骨軟骨代謝」

10月31日(金)13:00-14:30 第1会場(1003 会議場)

座長: 田中 栄(東京大学医学部附属病院 整形外科)

西田 圭一郎(岡山大学 医学部 整形外科)

「骨折後炎症期における骨折治癒のメカニズム」

今井 祐記(大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科)

「TNFにより誘導される未熟樹上細胞の破骨活性への影響」

富田 哲也(大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学)

「変形性関節症における軟骨細胞の基質産生の変化ー軟骨細胞の基質産生の正常化は可能か?ー」

福井 尚志((独)国立病院機構相模原病院 臨床研究センター)

「ステロイド性骨壊死の予防ー動物モデルを用いた検討ー」

本村 悟郎(九州大学 整形外科)

「筋組織が骨化する難病:進行性骨化性線維異形成症(FOP)」

片桐 岳信(埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 病態生理部門)

ミニシンポジウム10「バイオマテリアルによる骨再生」

10月31日(金)14:30-16:00 第1会場(1003 会議場)

座長: 吉川 秀樹(大阪大学 医学部 整形外科)

大串 始(産業技術総合研究所 セルエンジニアリング研究部門)

「バイオマテリアルとBMPによる骨再生」

星野 雅俊(大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科)

「バイオマテリアルと培養細胞による骨再生」

勝部 好裕(産業技術総合研究所 セルエンジニアリング研究部門 組織・再生工学研究グループ)

「チタン金属による骨再生/多機能チタン材料の開発」

藤林 俊介(京都大学大学院 医学研究科 整形外科)

「生体吸収性高分子マテリアルによる顎骨再生」

木下 勲彦(神奈川歯科大学 高次口腔科学研究所)

「バイオマテリアルを用いた骨再生の評価」

名井 陽(大阪大学医学部附属病院 未来医療センター)

(ランチョンセミナー及びイブニングシンポジウムは省略)

**24. 12月6日(土)～7日(日) 第1回日本統合医療学会**

(於:福岡)

12月6日(土)学術プログラム

シンポジウムⅠ 統合医療における科学的エビデンスの意義

(司会:吉川敏一 京都府立医科大学、仁田 新一 東北大学)

シンポジスト 阿岸鉄三 東京女子医科大学名誉教授

久保 明 東海大学教授

蒲原聖可 健康科学大学教授

シンポジウムⅡ 統合医療は、わが国で正当医療になりうるか？

(司会:渥美和彦 日本統合医療学会、帯津良一 帯津三敬病院名誉院長)

シンポジスト 佐藤信紘 順天堂大学名誉教授

伊藤壽記 大阪大学教授

上馬場和夫 富山大学和漢医薬学総合研究所客員教授

川嶋 朗 東京女子医科大学准教授

ランチョンセミナー:特別講演

(司会:渥美英子 日本統合医療学会)

演者:比企 寿美子 エッセイスト・作家

会長講演

(司会:渥美和彦 東京大学名誉教授)

演者:久保千春 九州大学病院長

特別講演Ⅰ

(司会:久保千春 九州大学病院長)

演者:渥美和彦 東京大学名誉教授

シンポジウムⅢ 統合医療におけるスピリチュアリティ

(司会:阿岸鉄三 東京女子医大名誉教授、中井吉英 関西医科大学)

シンポジスト 上田至宏 関西鍼灸大元教授

柴田眼治 柴田病院長

竹林直紀 ナチュラル心療内科クリニック

亀 節子 関西医療大学招聘教授(予定)

シンポジウムⅣ 統合医療における看護の役割

(司会:川嶋みどり 日本赤十字看護大学、丸山マサ美 九州大学大学院)

シンポジスト 川嶋みどり 日本赤十字看護大学学部長  
小坂橋喜久代 群馬大学教授  
尾崎フサ子 新潟大学教授

12月7日(日)学術プログラム

シンポジウムⅤ 統合医療と東洋医学

(司会:中川雅夫 明治国際医療大学、三瀧忠道 飯塚病院東洋医学センター長)

劉魯明 上海復旦大学付属腫瘍病院中西医治療センター長  
西條一止 筑波技術短期大学名誉教授  
古園井重敏 (社)福岡県柔道整復師会 学術部長

シンポジウムⅥ 食と健康

(司会:乾 明夫 鹿児島大学教授、南 久則 熊本県立大学教授)

シンポジスト 白畑實隆 九州大学教授  
片山直美 名古屋女子大学准教授  
蒲原聖可 健康科学大学教授

ランチョンセミナー 特別講演

(司会:古賀 伸彦 新古賀病院院長)

演者:吉川敏一 京都府立医科大学教授

招待講演「世界におけるCAM、特に東欧、アフリカについて」

(司会:岡田 昌義 日本血管内治療学会理事長)

演者:廣瀬輝夫 日本医療経営学会理事長

特別講演Ⅱ

(司会:久保千春 九州大学病院長 )

演者:野本亀久雄 九州大学名誉教授

25. 1月20日 JANAMEF ニュース発行(No.33)

26. 3月8日(土) 第9回葉山ハートセミナーの助成

(於:神奈川)

	第9回葉山ハートセミナー		
	PROGRAM		
	2009年3月7日(土)		
8:30	受付		
8:50	開会挨拶		
9:00~13:00	Live Surgery ~葉山ハートセンター1階ホールにて 2症例~ 術者:磯村 正、星野 丈二、深田 康久、片平 晋太郎、 北村 アキ、近藤 太一		
	座長: 幕内 晴朗 聖マリンアンナ医科大学病院 岡村 吉隆 和歌山県立医科大学病院		
13:00~13:45	Lunch		
13:45~14:45	Special Lecture 1 大動脈弁狭窄症に対して自己開発した弁尖形成器を使用した 大動脈弁形成術 東邦大学医療センター大橋病院 座長:磯村 正 葉山ハートセンター	尾崎 重之	
14:45~15:00	Coffee Break		
15:00~16:00	Special Lecture 2 Bioprosthetic Aortic Valve Replacement; Indications and technical consideration Florida Heart Institute,USA 座長:磯村 正 葉山ハートセンター	Kevin D Accola	
16:00~16:15	Coffee Break		
16:15~18:15	Symposium 大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術 大動脈弁狭窄症におけるMorrow手術の検討 狭小大動脈弁輪に対する弁輪拡大術 狭小大動脈弁輪に対するATS16mmの使用について AVR施行時の中隔肥厚に対する処置及びMAGNA移植時 のヒットフォール AVRにおけるMagna,CEP,Prima PLUS弁置換術の検討 座長:益田 宗孝 横浜市大学病院	帝京大学病院 岐阜県総合医療センター 宮崎市郡医師会病院 心臓血管センター北海道大野病院 葉山ハートセンター	石川 進 今泉 松久 福島 靖典 道井 洋史 深田 靖久
18:30~20:30	懇親会 ~ラ・マーレ・ド・チャヤにて~		

## 27. 3月14日(土) 平成20年度第2回理事会・評議員会

- 日時:平成21年3月24日(土)14:00~17:00
- 場所:ホギメディカル会議室(東京都港区赤坂2-7-7)
- 議題

第1号議案	2009年度収支予算書(案)の審議	資料1
第2号議案	2009年度の事業計画書(案)の審議	資料2
第3号議案	基本財産の明細と今後の運用方針	資料3
その他	平成20年度収支見込	資料4

## 28. 3月31日(火) 平成20年度 JANAMEF(A項・B項)助成の応募締切り

(二)平成 21 年度第 1 回理事会・評議員会議事  
日時:5 月 16 日(土) 場所:ホギメディカル

1. 議事進行＝事務局長(配布資料:議題)
2. 会議成立の確認
3. 議長の選出＝理事長・評議員会議長を選出
4. 会長挨拶・理事長挨拶・出席者自己紹介
5. 議事録署名人の指名・前議事録の朗読と確認  
(第 37 回評議員会議事録)、(第 40 回理事会議事録)
6. 第 1 号議案の審議 顧問・理事・監事の選任
7. 第 2 号議案の審議 評議員・選考委員の選任
8. 第 3 号議案の審議 理事及び評議員の定数変更
9. 第 4 号議案の審議 平成 20 年度事業報告書の承認
10. 第 5 号議案の審議 平成 20 年度決算報告書・監査報告書の承認
11. 第 7 号議案の審議 平成 21 年度修正収支予算書の承認
12. その他 基本財産の毀損を防ぐための提案

資料 1-1-1-2

資料 2-1-2-2

資料 3

資料 4

資料 5

資料 6

資料 7

資料 8

以上

(三)平成 21 年度顧問・役員名簿  
(顧問 3 名、理事 21 名、監事 2 名)

顧 問	鍋谷 欣市	杏林大学 名誉教授
	清水 一功	社会福祉法人ロングライフ小諸 理事長
	徳田 虎雄	医療法人徳洲会 理事長
会 長	小玉 正智	滋賀医科大学 名誉教授
理事長	宮坂 勝之	長野県立こども病院 院長
専務理事	伴 信太郎	名古屋大学医学部附属病院総合診療部 教授
常務理事	遠藤 直哉	フェアネス法律事務所 代表弁護士
	小池 薫	京都大学大学院医学研究科救急医学分野 教授
	鈴木 隆夫	医療法人徳洲会 専務理事
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長
	野村 実	東京女子医科大学医学部麻酔科 教授
理 事	伊藤 澄信	独立行政法人国立病院機構本部医療部 研究課長
	井上 大輔	東京慈恵会医科大学腫瘍・血液内科 准教授
	大久保 満男	社団法人日本歯科医師会 会長
	大坪 修	財団法人健康医学協会 理事長
	岡田 守功	全国老人保健施設協会 副会長
	黒川 清	政策研究大学院大学 教授
	越澤 徳美	株式会社徳洲会 代表取締役社長
	児玉 孝	社団法人日本薬剤師会 会長
	末松 誠	慶應義塾大学 医学部長・教授
	高倉 公朋	東京女子医科大学先端生命医科学研究所 顧問
	古川 國久	グリーンホスピタルサプライ株式会社 代表取締役社長
	山内 豊明	名古屋大学医学部基礎看護学講座 教授
	山本 保博	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院 院長
監 事	大隈 暁子	東陽監査法人 パートナー・公認会計士
	掛川 暉夫	国際親善総合病院 名誉院長

#### (四)平成 21 年度評議員名簿(33 名)

青木 眞	サクラ精機株式会社 学術顧問
青木 眞	泉工医科工業株式会社 代表取締役社長
赤津 晴子	スタンフォード大学内分内分泌内科 Associate Professor
浅井 徹	滋賀医科大学外科学講座心臓血管外科 教授
生坂 政臣	千葉大学医学部附属病院総合診療部 教授
石河 正樹	株式会社メディカルアソシア 特別顧問
板垣 徹也	医療法人徳洲会東京西徳洲会病院 院長
稲岡 光子	財団法人木村看護教育振興財団 ナースアドバイザー
井上 順一	オーシン株式会社 取締役会長
大石 佳能子	株式会社メディヴァ 代表取締役
落合 武徳	千葉大学 名誉教授
金井 Pak 雅子	東京有明医療大学看護学部看護学科学科長・教授
亀田 信介	亀田総合病院 院長
川村 功	医療法人社団木下会鎌ヶ谷総合病院 名誉院長
小林 恵一	神戸大学医学部臨床准教授
湖山 泰成	医療法人社団湖聖会常任理事・湖山医療福祉グループ 代表
呉屋 朝幸	杏林大学医学部外科 教授
佐多 保彦	株式会社東機貿 代表取締役社長
鈴木 康生	鈴木クリニック 院長
相馬 孝博	東京医科大学医療安全管理学 主任教授
竹中 洋	大阪医科大学 学長
田中 秀治	国土舘大学院救急救命システムコース 主任教授
中島 淳	横浜市立大学附属病院消化器内科 教授
中島 康雄	聖マリアンナ医科大学放射線医学講座 教授
新浪 博	埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科 教授
沼口 雄治	財団法人聖路加国際病院 特別顧問
橋本 正良	神戸大学医学部附属病院総合診療部 准教授
長谷川 敏彦	日本医科大学大学院社会医学系研究科医療管理学教室 教授
福田 国彦	東京慈恵会医科大学放射線医学講座 講座担当教授
本庶 佑	京都大学大学院医学研究科免疫ゲノム医学講座 客員教授
間宮 群二	防衛医科大学校 名誉教授
山岸 久一	京都府立医科大学 学長
山本 悟	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院眼科 部長代行

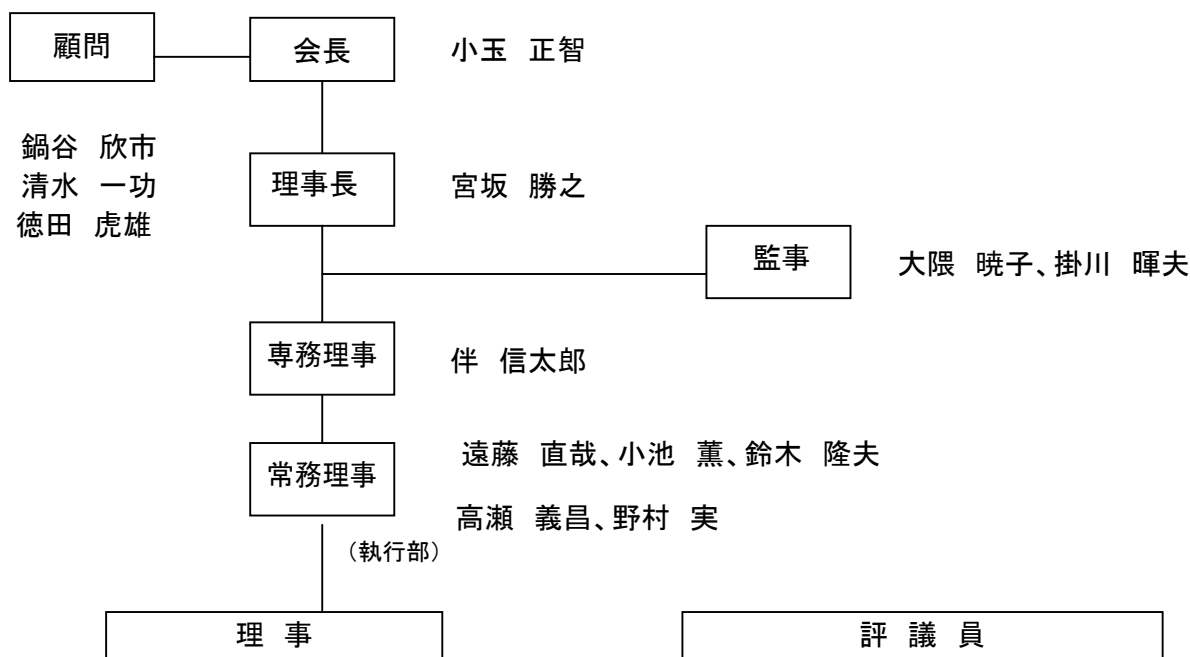
(五) 平成 21 年度選考委員名簿(9 名)

委員長	伴 信太郎	名古屋大学医学部附属病院総合診療部 教授(理事)
副委員長	小池 薫	京都大学大学院医学研究科救急医学分野 教授(理事)
委員	青木 眞	サクラ精機株式会社 学術顧問(評議員)
委員	稲岡 光子	財団法人木村看護教育振興財団 ナースアドバイザー(評議員)
委員	金井 Pak 雅子	東京有明医療大学看護学部看護学科学科長・教授(評議員)
委員	中島 康雄	聖マリアンナ医科大学放射線医学講座 教授(評議員)
委員	沼口 雄治	財団法人聖路加国際病院 特別顧問(評議員)
委員	山内 豊明	名古屋大学医学部基礎看護学講座 教授(理事)
委員	David H. Satterwhite	日米教育委員会 事務局長(一般)

## (六) 財団組織図

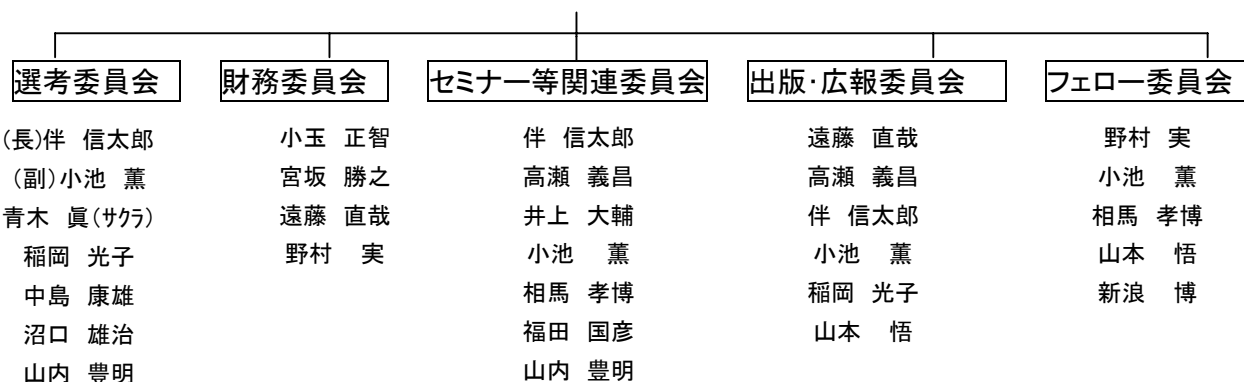
### 1. 財団組織図

(役員は全員非常勤)



伊藤 澄信 井上 大輔 大久保 満男 大坪 修  
 岡田 守功 黒川 清 越澤 徳美 児玉 孝  
 末松 誠 高倉 公朋 古川 國久 山内 豊明  
 山本 保博

青木 眞	青木 眞	赤津 晴子	浅井 徹	生坂 政臣	石河 正樹
板垣 徹也	稲岡 光子	井上 順一	大石 佳能子	落合 武徳	金井Pak雅子
亀田 信介	川村 功	小林 恵一	湖山 泰成	呉屋 朝幸	佐多 保彦
鈴木 康生	相馬 孝博	竹中 洋	田中 秀治	中島 淳	中島 康雄
新浪 博	沼口 雄治	橋本 正良	長谷川 敏彦	福田 国彦	本庶 佑
間宮 群二	山岸 久一	山本 悟			



David H. Satterwhite

### 2. 事務局

現在事務局は、事務局長と総務担当職員(常勤)1名と臨時職員で対応している。

執務時間は、月曜日から金曜日の午前9時半から午後5時半まで(ただし、祝日及び財団の休日は除く)。

(七) 平成 20 年度助成者名簿

2008年度A項助成者				
	氏名 年齢・男女	1)現職 2)出身大学(年度) 3) "	1)希望分野 2)予定施設 3)予定期間	1)推薦者 賛助会員 2) 非賛助会員
1	大塚 亮平 (27) 男	1)筑波大学附属病院 総合診療グループ 2)聖マリアンナ医科大学 (2004年卒)	1)家庭医療 Resident 2)University of Rochester Medical Center 3)2008年6月15日出発予定 2008年7月1日研修開始	1)赤津 晴子(理事) ピッツバーグ大学 内科准教授 2)神保 真人(1993年度助成者) ミシガン大学 家庭医療学 准教授
2	蔵満 薫 (32) 女	1)神戸大学大学院医学系 研究科外科学講座 大学院生 2)神戸大学医学部 (2000年卒) 神戸大学大学院 (2008年修了)	1)移植外科 Post-doctoral Research Fellow 2)Harvard Medical School Douglas W. Hanto/ Professor of Transplant Surgery 3)2008年4月2日出発予定、 2008年4月～2010年3月研修期間、2年	1)具 英成 神戸大学医学部 肝胆臓外科学 教授 2)高田 泰次 京都大学医学部 肝胆臓外科学 准教授
3	宮崎 景 (35) 男	1)名古屋大学医学部附属病院 総合診療部 客員研究員 2)名古屋大学医学部 (1996年卒) 名古屋大学医学部 (2005年修了)	1)家庭医療 Resident 2)University of Michigan Department of Family Medicine James M. Cooke, Residency Program Director 3)2008年6月1日出発予定 2008年6月～2013年6月30日研修期間、5年	1)伴 信太郎(常務理事) 名古屋大学医学部附属病院 総合診療部 教授 2)佐野 潔 American Hospital of Paris Visiting Clinical Assistant Professor University of Michigan Medical School Department of Family Medicine
4	大澤 弘勝 (36) 男	1)Research Fellow 2)名古屋大学医学部 (1997年卒) 名古屋大学大学院 (2006年修了)	1)脳神経外科 Clinical Fellow 2)The Hospital for Children, Toronto,Canada James T. Drake, MBBCh, MSc, FRCS:Division Head 3)2006年5月渡米 帰国予定 2009年7月、留学期間 1年 研修開始 2008年6月1日	1)後藤 亨 後藤整形外科 院長 2)夏目 敦至 名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学COE 准教授
5	荒木 貴子 (37) 女	1)Beth Israel Medical Center 2)長崎大学医学部 (2000年卒)	1)Endocrinology and Metabolic Diseases (内分泌・代謝) Research Fellow 2)Beth Israel Medical Center Leonid Poretsky,M.D.,Donna Seto-Young,PhD. 3)2005年6月20日渡米 帰国予定 2011年7月1日、留学期間 6年 研修開始 2008年7月1日	1)山本 悟(評議員) 国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 眼科部長代行 2)Gerald Bernstein, M.D. Beth Israel Medical Center Friedman Diabetes Institute
6	恒吉 裕史 (38) 男	1) Clinical Research Fellow 2)鳥取大学医学部 (1994年卒) 京都大学大学院 (2005年修了)	1)心臓血管外科 Clinical Fellow 2)Sunnybrook Health Sciences Centre Professor, Stephen E. Fremes, MD, FRCS(C) 3)2006年8月17日渡米 帰国予定 2009年12月31日、留学期間 3年4か月 研修開始 2006年8月17日	1)大野 暢久(2000年度助成者) 兵庫県立尼崎病院 心臓血管外科部長 2)米田 正始 豊橋ハートセンター/大和成和病院 スーパーバイザー

7	北方 敏敬 (39) 男	1)ピッツバーグ大学 マクゴワン再生医学研究所 ポストドクトラルフェロー	1)内視鏡外科 Clinical Fellow	1)赤津 晴子(理事) ピッツバーグ大学 内科准教授
		2)京都府立医科大学 (1994年卒) 京都大学医学研究科 (2005年修了)	2)University of Pittsburgh Medical center, The heart, lung and esophageal surgery institute James D. Luketich, professor of surgery	2)豊田 吉哉(2000年度助成者) ピッツバーグ大学 心臓外科 准教授
			3)2005年3月26日渡米 帰国予定 2010年6月30日,留学期間 2年 研修開始 2008年7月1日	
8	金光 ひでお (40) 男	1)浜松労災病院 心臓血管外科(副部長)	1)心臓血管外科 Fellowship	1)富田 伸司(2003年度助成者) 長良医療センター 医長
		2)高知医科大学 (1994年卒) 京都大学大学院 (2006年修了)	2)Intermountain Medical Center Kent W. Jones Chairman Cardiovascular and Thoracic Surgery	2)米田 正始 豊橋ハートセンター スーパーバイザー
			3)渡米時期:2008年6月 研修開始:2008年7月1日 帰国予定:2010年6月30日、留学期間:2年	
9	堀 圭二郎 (33) 男	1)東京女子医科大学 東医療センター 助教	1)創傷治療 Postdoctoral Fellow	1)山下 建(2007年度助成者) 近畿大学形成外科 助教
		2)弘前大学医学部 (2000年卒)	2)University of Alberta Director for the Division of Surgical Research, Dr. Edward E. Tredget, MD, MSc	2)野崎 幹弘 東京女子医科大学形成外科 主任教授
			3)渡米時期:2008年6月1日 研修開始:2008年6月15日 帰国予定:2009年6月30日、留学期間:1年	
10	中山 郁恵 (29) 女	1)浦添総合病院 後期研修医('08.3.31迄) 伊江島診療所(4月迄)	1)内科(集中治療、腎臓内科分野) Intern	1)小池 薫(財団理事) 京都大学 初期診療、救急医学分野 教授
		2)東北大学医学部 (2005年卒)	2)Pennsylvania Hospital Dennis Policastro M.D. (Program Director)	2)宮城 征四郎 臨床研修病院群プロジェクト 群星沖縄 プロジェクトリーダー プログラムディレクター
			3)渡米時期:2008年5月18日 研修開始:2008年6月15日 帰国予定:2014年6月中旬、留学期間:6年	
11	熊倉 純子 (29) 女	1)慶應義塾大学病院 7号棟5階 小児科 (新生児科)	1)小児科・新生児科 Student Worker	1)末松 誠 慶應義塾大学医学部 医学部長
		2)日本赤十字看護大学 (2002年卒)	2)University of California, Riverside Extension Ms. Charlene Pratt	2)池田 一成 慶應義塾大学医学部 准教授
			3)渡米時期:2008年9月 研修開始:2008年9月25日 帰国予定:2010年8月、留学期間:1年9か月	
12	中西 幸浩 (48) 男	1)国立がんセンター研究所 病理部 第一組織病理 研究室 室長	1)外科病理学 Research fellow	1)呉屋 朝幸(財団評議員) 杏林大学医学部 外科学教授
		2)群馬大学医学部 (1986年卒) 群馬大学大学院 (1990年修了)	2)Department of Pathology, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School Dr. Yukako Yagi(Instructor) Dr. John Gilbertson (Associate Professor)	2)広橋 説雄 国立がんセンター 総長
			3)渡米時期:2008年6月29日 研修開始:2008年7月1日 帰国予定:2009年6月30日、留学期間:1年	

13	中川 敦寛 (35) 男	1)東北大学大学院医学系 研究科神経外科学分野 助教	1)脳神経外科 Postdoctoral Fellow	1)小池 薫(財団理事) 京都大学 初期診療、救急医学分野 教授
		2)東北大学医学部 (1998年卒) 東北大学大学院 (2004年修了)	2)Department of Neurological Surgery, University of California, San Francisco Geoffrey Manley,M.D., Ph.D., Associate Professor, Department of Neurological Surgery	2)富永 悌二 東北大学大学院医学系 研究科神経外科学分野 教授
			3)渡米時期:2008年7月~8月 研修開始:'08年8月15日~'09年6月 帰国予定:、留学期間:1年	
14	宮下 偉路 (47) 男	1)嬉泉会 嬉泉病院 内科	1)家庭医学 Resident	1)西垣 良夫 佐久総合病院 副院長
		2)東京大学大学院 (1993年修了) 信州大学医学部 (1999年卒)	2)University of Pittsburgh Shadyside Family Medicine Residency N. Randall Kolb, Director	2)牛久 英雄 佐久総合病院 小児科部長
			3)渡米時期:2008年6月22日 研修開始:'08年7月1日~'09年6月30日 帰国予定:2011年6月、留学期間:3年	
15	山下 勝 (37) 男	1)米国ウィスコンシン大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 客員研究助手	1)喉頭科学 Assistant Visiting Scientist	1)井上 大輔(財団理事) 東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科 准教授
		2)鹿児島大学医学部 (1996年卒) 京都大学大学院医学研究科 (2007年修了)	2)Division of Otolaryngology Head and Neck Surgery ,Department of Surgery, University of Wisconsin School of Medicine and Public Health Nathan V. Welham, Ph.D., Assistant Professor	2)Nathan V. Welham 米国ウィスコンシン大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教
			3)渡米時期:2007年3月25日 研修開始:2007年4月1日 帰国予定:2009年9月30日、留学期間:2年6か月	
16	渡瀬 剛人 (30) 男	1)OHSU Emergency Medicine Resident	1)救急医学 Resident	1)伴 信太郎(財団常務理事) 名古屋大学総合診療部 教授
		2)名古屋大学医学部 (2003年卒)	2)OHSU Department of Emergency Medicine Mohammad Daya,MD	2)Mohammad Daya,MD OHSU救急医学講座 助教授
			3)渡米時期:2007年6月10日 研修開始:2007年6月26日 帰国予定:2010年6月、留学期間:3年	

2008年度B項助成者				
	氏名 年齢・男女	1)現職 2)出身校(卒業年度)	1)希望分野 2)予定施設 3)予定期間	1)受入者 2)推薦者 ① 賛助会員 ② 非賛助会員
1	藁谷 理 (40) 男	1)杏林大学医学部 小児科 助教  2)杏林大学医学部 (1993年卒) 杏林大学医学部大学院 (1999年修了)	1)トロントにおける小児循環器病学の臨床研究 Research Fellow  2)The Hospital for Sick Children,Toronto  3)2008年7月～2009年6月、1年	1)Dr. Lee Benson University of Toront, Professor of Pediatrics, The Hospital for Sick Children, Director, Cardiac Diagnostic and Interventional Unit 2)①森 克彦 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院 循環器小児科 副院長  ②中西 俊雄 東京女子医科大学 循環器小児科 准教授
2	武市 卒之 (39) 男	1)熊本大学医学部附属病院 小児科・移植外科 助教 2)群馬大学医学部 (1993年卒)  群馬大学大学院医学研究科 (2001年修了)	1)肝臓に対する肝移植の実験的、臨床的研究 Research and Clinical Fellow 2)Heidelberg University Hospital, Department of Surgery  3)2008年4月1日～2009年3月30日、1年	1)Professor Jan Schmidt Heidelberg University Hospital Department of Surgery 2)①笠原 群生('02年度助成者) 国立成育医療センター 移植外科 科長  ②猪股 裕紀洋 熊本大学医学部附属病院 小児外科・移植外科 教授
3	塩見 和 (37) 男	1)順天堂浦安病院 呼吸器外科 助教 2)和歌山県立医科大学 (1998年卒)	1)日本における中皮腫に効果的診療体系の確立  2)Brigham and Woman's Hospital  3)2008年9月1日～2009年3月31日、4ヶ月	1)David Sugarbaker, M.D. Department of Thoracic Surgery, Professor 2)①渡辺 俊一 国立がんセンター 医員  ②樋野 興夫 順天堂大学医学部 病理腫瘍学講座 教授

2009年度 A項助成者				
	氏名	1)現職	1)希望分野	1)推薦者 賛助会員
	年齢・男女	2)出身大学(年度)	2)予定施設	2) 非賛助会員
		3) "	3)予定期間	
1	許 智栄 (32) 男	1)神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 副医長	1)家庭医療 Resident	1)有吉 孝一 佐賀大学医学部 救急医学講座 准教授
		2)京都大学医学部 (2001年卒)	2)University of Pittsburgh Medical Center Shadyside N.randall Kolb, M.D. Program Director	2)佐藤 慎一 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 部長
			3)出発予定 2009年5月20日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2012年6月30日、3年	
2	三橋 弘嗣 (36) 男	1)愛知県済生会病院 循環器内科 医員 名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科 客員研究員	1)循環器内科 Interventional Fellow	1)伴 信太郎 名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療学 教授
		2)名古屋大学医学部 (1998年卒) 名古屋大学大学院 医学系研究科 (2008年修了)	2)University of Calgary Foothill's Medical Center Dr.Michael Curtis (Professor)	2)室原 豊明 名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科 教授
			3)出発予定 2009年6月15日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2011年7月15日、2年	
3	筒泉 貴彦 (30) 男	1)神戸大学医学部附属病院 総合診療部 医員	1)循環器内科 研修医	1)橋本 正良('89年度助成者) 神戸大学医学部附属病院 総合診療部 准教授
		2)神戸大学医学部 (2004年卒)	2)University of Hawaii Bruce Soll (Professor)	2)平岡 栄治('01年度助成者) 神戸大学医学部附属病院 総合診療部 助教
			3)出発予定 2009年6月1日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2012年6月30日、3年	
4	亀井 秀弥 (38) 男	1)名古屋大学医学部附属病院 移植外科 病院助手	1)移植外科領域 Clinical Fellow	1)伴 信太郎 名古屋大学医学部附属病院 総合診療部 教授
		2)名古屋大学医学部 (1996年卒) 名古屋大学大学院 (2007年修了)	2)London Health Sciences Centre, University of Western Ontario Douglas Quan, MD,MSc,Dirctor, Transplant Surgery Fellowship Program	2)中尾 昭公 名古屋大学医学部附属病院 消化器外科 2 教授
			3)出発予定 2009年6月15日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2011年6月15日、2年	
5	長岡 武彦 (30) 男	1)帝京大学医学部附属病院 麻酔科 助手	1)麻酔科 Clinical Fellow	1)森田 茂穂 帝京大学医学部附属病院 主任教授
		2)東京医科歯科大学 (2004年卒)	2)St. Vincent's Hospital Melbourne Associate Professor Michael Davies, Director of Anaesthesia	2)中田 善規 帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授
			3)出発予定 2009年7月20日 研修開始 2009年8月1日 帰国予定 2010年8月10日、1年	

6	阪下 和美 (30) 女	1)ナショナルメディカクリニック 小児科 非常勤医師	1)小児科 Resident	1)柴田 敏郎 高山赤十字病院 内科指導医
		2)岐阜大学医学部 (2004年卒)	2)Pediatric Residency Program, The University of Hawaii Dr.Daniel Murai, Program Director	2)Elizabeth A. Gray United States Naval Hospital Okinawa Staff Emergency Physician
			3)出発予定 2009年6月15日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2012年8月、3年	
7	早川佳代子 (31) 女	1)東海大学医学部附属病院 総合内科 臨床助手	1)内科学、感染症学 Fellow, Division of Infectious Diseases	1)柳 秀高 東海大学医学部附属病院 総合内科 助教
		2)東北大学医学部 (2001年卒) 東北大学医学部大学院 (2009年修了)	2)Wayne State University School of Medicine Pranatharthi Chandrasekar, MD (Program Director)	2)賀来 満夫 東北大学医学部大学院 感染制御・検査診断学分野 教授
			3)出発予定 2009年6月21日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2011年6月30日、2年	
8	森田 泰央 (32) 男	1)帝京大学附属病院 麻酔・集中治療講座 助手	1)麻酔・集中治療 Anesthesia Resident	1)小池 薫('89年助成者) 京都大学大学院 教授
		2)東京大学医学部 (2003年卒)	2)University of Iowa Hospitals and Clinics Debra Szeluga, MD, PhD	2)中田 善規 帝京大学医学部附属病院 麻酔科 教授
			3)出発予定 2009年6月1日 研修開始 2009年6月24日 帰国予定 2014年6月30日、5年	
9	北濱 誠一 (33) 男	1)横須賀米海軍病院 インターン	1)内視鏡外科 一般外科 Clinical Fellow	1)加納 宣康 亀田総合病院 主任外科部長
		2)京都大学医学部 (2002年卒)	2)Legacy Emanuel/Good Samaritan Hospital Valerie J. Halpin, M.D.(Program Director)	2)星 寿和 ( '92年・'01年度助成者) アイオワ大学 外科 助教授
			3)出発予定 2009年6月25日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2010年7月5日、1年	
10	内野三菜子 (35) 女	1)埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 助教	1)医学教育 Student, Graduate School	1)土器屋 卓志 埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科 教授
		2)東京女子医科大学医学部 (1998年卒) 聖マリアンナ医科大学大学院 (2004年修了)	2)Ontario Institute for Studies in Education of the U Pamela Catton, MD, MHPE, FRCPC Director, Oncology Education	2)大谷 尚 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授・副研究科長
			3)出発予定 2009年7月31日 研修開始 2009年9月1日 帰国予定 2011年6月1日、1年11か月	
11	木田康太郎 (32) 男	1)東京慈恵医科大学 麻酔科学講座 助教	1)基礎医学研究科 Research Fellow	1)井上 大輔('88年助成者) 東京慈恵医科大学 臨床腫瘍部 准教授
		2)東京慈恵医科大学 (2002年卒)	2)Massachusetts General Hospital Fumito Lchinose, M.D.,PhD. Associate Professor of Anesthesia	2)上園 晶一('91年助成者) 東京慈恵医科大学 麻酔科学講座 教授
			3)出発予定 2009年6月30日 研修開始 2009年7月1日 帰国予定 2011年6月30日、2年	

2009年度 B項 助成者			
氏名 年齢・男女	1)現職 2)出身校(卒業年度)	1)希望分野 2)予定施設 3)予定期間	1)受入者 2)推薦者 ① 賛助会員 ② 非賛助会員
1 上原 由紀 (35) 女	1)順天堂大学医学部 感染制御科学/総合診療科 助教	1)本邦におけるより良い感染症専門家育成の ための調査 Visiting Clinician	1) Abinash Virk,MD Assistant Professor, Department of infectious Diseases, Mayo Clinic, Minnesota
	2)日本大学医学部 (1997年卒)	2)Mayo Clinic, Department of infectious Diseases Abinash Virk,MD Assistant Professor, Department of infectious Diseases, Mayo Clinic, Minnesota	2)①青木 眞(評議員) 株サクラ精機 学術顧問 ②平松 啓一 順天堂大学院医学研究科 感染制御科学 教授
		3)2009年9月20日～2009年12月28日、3か月	
2 北川 洋 (37) 男	1)東京大学医学部附属病院 呼吸器内科 助教	1)肺癌診療におけるbiomarker の有用性の検討 graduate fellow	1) David C. Christiani Harvard School of Public Health Professor of Occupational Medicine and Epidemiology
	2)三重大学医学部 (1997年卒) 東京大学大学院 (2001年修了)	2)Harvard School of Public Health David C. Christiani Professor of Occupational Medicine and Epidemiology	2)①長瀬 隆英 東京大学医学部附属病院 呼吸器内科 教授 ②橋本 英樹 東京大学医学部附属病院 臨床疫学・経済学 教授
		3)2009年7月21日～2010年8月1日、11か月	
3 古賀晋一郎 (33) 男	1)国立成育医療センター病院 総合診療部 スーパーレジデント	1)難治性てんかん患者におけるてんかん外科手術 (皮質切除術)の適応決定に関する検討 Postdoctoral research fellow	1) 医学博士、科学修士 浅野 英司 ミシガン州立ウエイン大学医学部 小児科、神経科学助教授 ミシガン小児病院 電気神経診断部 部長
	2)山形大学医学部 (2001年卒) 東北大学大学院 医学系研究科 (2007年修了)	2)Department of Pediatrics and Neurology, Children's Hospital of Michigan, Detroit,ML Eishi Asano, MD,PhD,MS(CRDSA) Assistant Professor of Pediatrics and Neurology Director of Electroneurodiagnostics	2)①阪井 裕一 国立成育医療センター病院 総合診療部 部長 ②松井 陽 国立成育医療センター病院 病院長
		3)2009年6月30日～2010年6月29日、1年	
4 山田 徹 (33) 男	1)京都大学大学院医学 研究科 呼吸器外科学 博士課程 大学院生	1)北米での肺移植臨床見学 Observer	1)Shaf Keshavjee MD MSc FRCS FACS, Division of Thoracic Surgery, University of Toronto, Division of Cardiac Surgery, University of Pittsburgh Medical Center
	2)京都大学医学部 (2000年卒)	2)Division of Thoracic Surgery, University of Toronto, Division of Cardiac Surgery, University of Pittsburgh Medical Center Shaf Keshavjee MD MSc FRCS FACS, Professor and Chair, Division of Thoracic Surgery	2)①小池 薫(89年助成者) 京都大学大学院 教授 ②伊達 洋至 京都大学大学院医学研究科 呼吸器外科学講座 教授
		3)2009年5月9日～2009年7月12日、2か月4日	

## (八) 平成 20 年度決算報告書

貸借対照表			
平成21年 3月31日現在			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,802,260	10,192,118	△ 2,389,858
小 口 現 金	40,525	64,332	△ 23,807
りそな銀行本郷支店普通預金 1347672	2,634,431	728,408	1,906,023
みずほ銀行四谷支店普通預金 1819806	408,910	2,129,934	△ 1,721,024
三菱東京UFJ銀行本郷支店普通預金 4526062	740,539	387,748	352,791
ゆうちょ銀行振替口座	39,213	172,820	△ 133,607
三井住友銀行麹町支店普通預金 2696422	2,057,138	11,491	2,045,647
大東京信用組合青山支店普通預金 1089107	98,502	0	98,502
ゆうちょ銀行通常貯金	36,432	3,535,846	△ 3,499,414
三井住友銀行麹町支店普通預金 480204	532,038	0	532,038
野村証券 M M F	344,358	342,710	1,648
三井住友銀行麹町支店定期預金 489691	731,344	0	731,344
野村 C R F 分配口分	303	303	0
三井住友銀行麹町支店普通預金 969060	138,527	2,818,526	△ 2,679,999
未 収 入 金	0	50,000	△ 50,000
仮 払 金	0	9,480	△ 9,480
流動資産合計	7,802,260	10,251,598	△ 2,449,338
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
大東京信用組合青山支店定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基財トイテロムインターナショナルファイナンスビープイ	15,101,083	32,048,726	△ 16,947,643
基財シテイクゝルーフ	0	31,642,503	△ 31,642,503
基財ノムラヨローuppファイナンスNV	294,640,000	256,130,000	38,510,000
基本財産その他	50,258,917	40,178,771	10,080,146
基本財産合計	370,000,000	370,000,000	0
(2) 特定資産			
環太平洋亜細亜基金	50,000,000	50,000,000	0
助成費積立預金	0	5,000,000	△ 5,000,000
日本小児外科学会総会積立預金	0	6,340,000	△ 6,340,000
西太平洋地区医学教育連盟代表者会議積立預	0	1,000,000	△ 1,000,000
アジア心臓血管麻酔学会積立預金	500,000	500,000	0
日本体外循環技術研究大会積立預金	0	100,000	△ 100,000
20周年記念事業積立預金	0	13,000,000	△ 13,000,000
第19回日本臨床モーター学会積立預金	0	5,200,000	△ 5,200,000
特定資産合計	50,500,000	81,140,000	△ 30,640,000
(3) その他固定資産			
敷 金	1,002,858	1,002,858	0
その他固定資産合計	1,002,858	1,002,858	0
固定資産合計	421,502,858	452,142,858	△ 30,640,000
資産合計	429,305,118	462,394,456	△ 33,089,338

II 負債の部			
1. 流動負債			
前 受 金	620,000	1,370,000	△ 750,000
学 会 寄 付 前 受 金	5,670,000	0	5,670,000
預 り 金	58,100	202,644	△ 144,544
仮 受 金	0	250,000	△ 250,000
流動負債合計	6,348,100	1,822,644	4,525,456
負債合計	6,348,100	1,822,644	4,525,456
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	0
2. 一般正味財産	372,957,018	410,571,812	△ 37,614,794
(うち基本財産への充当額)	(370,000,000)	(370,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(500,000)	(31,140,000)	(△30,640,000)
正味財産合計	422,957,018	460,571,812	△ 37,614,794
負債及び正味財産合計	429,305,118	462,394,456	△ 33,089,338

正味財産増減計算書			
平成20年 4月 1日から平成21年 3月31日まで			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	29,695,654	24,180,662	5,514,992
基本財産受取利息	22,597,026	24,180,662	△ 1,583,636
基本財産運用益	7,098,628	0	7,098,628
特定資産運用益	1,906,262	3,310,445	△ 1,404,183
特定資産受取利息	1,906,262	3,310,445	△ 1,404,183
受取会費	9,230,000	9,710,000	△ 480,000
賛助会員受取会費	9,230,000	9,710,000	△ 480,000
事業収益	4,570,085	1,162,000	3,408,085
セミナー収益	4,570,085	1,162,000	3,408,085
受取寄付金	45,982,000	51,530,000	△ 5,548,000
受取寄付金	45,982,000	51,530,000	△ 5,548,000
雑収益	50,513	68,162	△ 17,649
受取利息	50,513	68,162	△ 17,649
助成費引当金取崩額	0	20,000,000	△ 20,000,000
20周年記念事業引当金取崩額	0	25,000,000	△ 25,000,000
第91次日本法医学会総会引当金取崩額	0	4,980,000	△ 4,980,000
経常収益計	91,434,514	139,941,269	△ 48,506,755
(2) 経常費用			
事業費	87,581,776	60,271,388	27,310,388
助成費	60,596,000	43,220,001	17,375,999
セミナー費	9,070,524	2,818,382	6,252,142
委員会費	249,672	783,807	△ 534,135
給与手当	4,106,648	6,675,897	△ 2,569,249
雑給	1,844,140	1,322,400	521,740
通信運搬費	88,000	0	88,000
資料印刷費	3,359,525	0	3,359,525
消耗品費	2,100	0	2,100
旅費交通費	865,083	1,037,179	△ 172,096
諸謝金	5,639,679	4,413,722	1,225,957
雑費	1,760,405	0	1,760,405
管理費	24,224,252	29,844,005	△ 5,619,753
給与手当	4,090,797	4,662,384	△ 571,587
雑給	37,960	41,000	△ 3,040
退職金	0	2,391,066	△ 2,391,066
法定福利費	635,677	692,853	△ 57,176
福利厚生費	8,545	9,817	△ 1,272
会議費	417,880	630,699	△ 212,819
資料印刷費	506,781	2,708,731	△ 2,201,950
通信運搬費	1,449,379	1,379,700	69,679
旅費交通費	3,297,148	3,877,963	△ 580,815
租税公課	9,000	4,500	4,500
賃借料	986,469	527,910	458,559
支払手数料	189,475	189,745	△ 270
消耗品費	408,949	508,066	△ 99,117
地代家賃	4,312,800	4,329,879	△ 17,079
水道光熱費	536,328	576,667	△ 40,339
諸謝金	6,855,746	6,606,001	249,745
雑費	481,318	707,024	△ 225,706
基本財産評価損	17,243,280	33,863,595	△ 16,620,315
経常費用計	129,049,308	123,978,988	5,070,320
当期経常増減額	△ 37,614,794	15,962,281	△ 53,577,075

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
敷金回収不能額	0	1,053,000	△ 1,053,000
経常外費用計	0	1,053,000	△ 1,053,000
当期経常外増減額	0	△ 1,053,000	1,053,000
当期一般正味財産増減額	△ 37,614,794	14,909,281	△ 52,524,075
一般正味財産期首残高	410,571,812	395,662,531	14,909,281
一般正味財産期末残高	372,957,018	410,571,812	△ 37,614,794
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	422,957,018	460,571,812	△ 37,614,794

財 産 目 録			
平成21年 3月31日現在			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,802,260		
現金手許有高	40,525		
りそな銀行本郷支店普通預金1347672	2,634,431		
みずほ銀行四谷支店普通預金1819806	408,910		
三菱東京UFJ銀行本郷支店普通預金4526062	740,539		
ゆうちょ銀行振替口座	39,213		
三井住友銀行麹町支店普通預金2696422	2,057,138		
大東京信用組合青山支店普通預金1089107	98,502		
ゆうちょ銀行通常貯金	36,432		
三井住友銀行麹町支店普通預金480204	532,038		
野村証券MMF	344,358		
三井住友銀行麹町支店定期預金489691	731,344		
野村CRF分配口分	303		
三井住友銀行麹町支店普通預金969060	138,527		
流動資産合計		7,802,260	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
大東京信用組合青山支店定期預金	10,000,000		
基財トイテレコムインターナショナルファイナンスビープイ	15,101,083		
基財ノムラヨーロ ッ パ フ ァイナンスNV	294,640,000		
野村ヨーロッパファイナンスエヌブイ No21173	50,000,000		
野村ヨーロッパファイナンスエヌブイ No8524	144,640,000		
野村ヨーロッパファイナンスエヌブイ No22822	50,000,000		
野村ヨーロッパファイナンスエヌブイ No22998	50,000,000		
基本財産その他	50,258,917		
基本財産りそな普通1347672	10,243,280		
基本財産みずほ普通1819806	7,000,000		
基本財産ゆうちょ銀行振替口座	15,000,000		
基本財産ゆうちょ銀行通常貯金	9,529,540		
基本財産三井住友普通480204	486,097		
基本財産三井住友麹町普通預金2696422	7,000,000		
基本財産三井住友麹町普通預金969060	1,000,000		
基本財産合計	370,000,000		
(2) 特定資産			
環太平洋亜細亜基金	50,000,000		
野村ヨーロッパファイナンスエヌブイ No21173	50,000,000		
アジア心臓血管麻酔学会積立預金	500,000		
三井住友麹町普通預金2696422	500,000		
特定資産合計	50,500,000		
(3) その他固定資産			
敷金	1,002,858		
その他固定資産合計	1,002,858		
固定資産合計		421,502,858	
資産合計			429,305,118
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	620,000		
学会寄付前受金	5,670,000		
預り金	58,100		
流動負債合計		6,348,100	
負債合計		6,348,100	
正味財産			422,957,018

## 平成20年度財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準について

満期保有目的の債券…原価法によっている。

その他の有価証券…時価のあるものについては期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の定める定額法によって償却している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額およびその残高は次頁のとおりである。

※ 基本財産増減額の内 100,000,000 円は資産の振替によるものであり、残り 17,243,280 円は有価証券の評価損による減少額とそれを補填した額である。

		(単位 円)			
科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>					
	定期預金(大東京信用組合)	10,000,000			10,000,000
	外国公社債(ドイツテレコム)	32,048,726		16,947,643	15,101,083
	外国公社債(シティグループ)	31,642,503		31,642,503	0
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス) #6017	45,170,000		45,170,000	0
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス) #8524	160,960,000		16,320,000	144,640,000
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス) #2117	50,000,000			50,000,000
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス) #2282	0	50,000,000	0	50,000,000
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス) #2299	0	50,000,000	0	50,000,000
	普通預金(りそな)	8,000,000	2,243,280		10,243,280
	普通預金(みずほ)	0	7,000,000		7,000,000
	振替口座(ゆうちょ銀行)	15,000,000			15,000,000
	普通預金(大東京信用組合)	1,557,657		1,557,657	0
	通常貯金(ゆうちょ銀行)	9,529,540			9,529,540
	普通預金(三井住友480204)	5,362,787		4,876,690	486,097
	普通預金(三井住友269642)		7,000,000		7,000,000
	普通預金(三井住友969060)		1,000,000		1,000,000
	定期預金(三井住友)	728,787		728,787	0
	小 計	370,000,000	117,243,280	117,243,280	370,000,000
<b>特定資産</b>					
	環太平洋亜細亜基金	50,000,000			50,000,000
	助成費積立預金	5,000,000		5,000,000	0
	第91次日本法医学会総会積立預金	0			0
	小児外科学会積立預金	6,340,000		6,340,000	0
	西太平洋地区医学教育連盟会議	1,000,000		1,000,000	0
	アジア心臓血管麻酔学会積立金	500,000			500,000
	日本体外循環技術大会積立預金	100,000		100,000	0
	第19回臨床モニター学会積立金	5,200,000		5,200,000	0
	20周年記念事業積立預金	13,000,000		13,000,000	0
	小 計	81,140,000	0	30,640,000	50,500,000
	合 計	451,140,000	117,243,280	147,883,280	420,500,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次頁のとおりである。

					(単位 円)
科 目		当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産					
	定期預金(大東京信用組合)	10,000,000		10,000,000	
	外国公社債(ドイツテレコム)	15,101,083		15,101,083	
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス)#8524	144,640,000		144,640,000	
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス)#2117	50,000,000		50,000,000	
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス)#2282	50,000,000		50,000,000	
	外国公社債(ヨーロッパファイナンス)#2299	50,000,000		50,000,000	
	普通預金(りそな)	10,243,280		10,243,280	
	普通預金(みずほ)	7,000,000		7,000,000	
	振替口座(ゆうちょ銀行)	15,000,000		15,000,000	
	通常貯金(ゆうちょ銀行)	9,529,540		9,529,540	
	普通預金(三井住友480204)	486,097		486,097	
	普通預金(三井住友269642)	7,000,000		7,000,000	
	普通預金(三井住友969060)	1,000,000		1,000,000	
	小 計	370,000,000	0	370,000,000	0
特定資産					
	環太平洋亜細亜基金	50,000,000	50,000,000		
	アジア心臓血管麻酔学会積立金	500,000		500,000	
	小 計	50,500,000	50,000,000	500,000	0
	合 計	420,500,000	50,000,000	370,500,000	0

4. 担保に供している資産 該当なし。

5. 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

	種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損
基本財産	外国公社債ヨーロッパファイナンスNV2282	50,000,000	34,400,000	△ 15,600,000
	外国公社債ヨーロッパファイナンスNV2299	50,000,000	34,095,000	△ 15,905,000
	外国公社債ヨーロッパファイナンスNV2117	50,000,000	37,170,000	△ 12,830,000
	小 計	150,000,000	105,665,000	△ 44,335,000
特定資産	外国公社債ヨーロッパファイナンスNV2117	50,000,000	37,170,000	△ 12,830,000
	合 計	200,000,000	142,835,000	△ 57,165,000

収 支 計 算 書			
平成20年 4月 1日から平成21年 3月31日まで			
科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	22,000,000	29,695,654	△ 7,695,654
基本財産利息収入	22,000,000	22,597,026	△ 597,026
基本財産運用収入	0	7,098,628	△ 7,098,628
特定資産運用収入	2,000,000	1,906,262	93,738
特定資産受取利息収入	2,000,000	1,906,262	93,738
会費収入	8,000,000	8,730,000	△ 730,000
賛助会員会費収入	8,000,000	8,730,000	△ 730,000
事業収入	5,000,000	4,570,085	429,915
セミナ一収入	5,000,000	4,570,085	429,915
寄付金収入	60,000,000	46,482,000	13,518,000
寄付金収入	60,000,000	46,482,000	13,518,000
雑収入	50,000	50,513	△ 513
受取利息収入	50,000	50,513	△ 513
事業活動収入計	97,050,000	91,434,514	5,615,486
2. 事業活動支出			
事業費支出	93,700,000	87,581,776	6,118,224
助成費支出	62,800,000	60,596,000	2,204,000
セミナ一支出	12,000,000	9,070,524	2,929,476
委員会費支出	2,000,000	249,672	1,750,328
給与手当支出	5,000,000	4,106,648	893,352
雑給支	1,600,000	1,844,140	△ 244,140
会議費支出	300,000	0	300,000
通信運搬費支出	0	88,000	△ 88,000
資料印刷費支出	2,000,000	3,359,525	△ 1,359,525
消耗品費支出	0	2,100	△ 2,100
旅費交通費支出	2,500,000	865,083	1,634,917
諸謝金支出	3,500,000	5,639,679	△ 2,139,679
雑費支出	2,000,000	1,760,405	239,595
管理費支出	31,300,000	24,224,252	7,075,748
給与手当支出	4,600,000	4,090,797	509,203
雑給支	0	37,960	△ 37,960
法定福利費支出	1,000,000	635,677	364,323
福利厚生費支出	100,000	8,545	91,455
会議費支出	700,000	417,880	282,120
資料印刷費支出	1,100,000	506,781	593,219
通信運搬費支出	2,100,000	1,449,379	650,621
旅費交通費支出	2,500,000	3,297,148	△ 797,148
租税公課支出	100,000	9,000	91,000
賃借料支出	1,000,000	986,469	13,531
支払手数料支出	600,000	189,475	410,525
消耗品費支出	600,000	408,949	191,051
地代家賃支出	5,000,000	4,312,800	687,200
水道光熱費支出	600,000	536,328	63,672
調査費支出	300,000	0	300,000
諸謝金支出	9,000,000	6,855,746	2,144,254
雑費支出	2,000,000	481,318	1,518,682
事業活動支出計	125,000,000	111,806,028	13,193,972
事業活動収支差額	△ 27,950,000	△ 20,371,514	△ 7,578,486
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定預金取崩収入	31,140,000	30,640,000	500,000
助成金積立預金取崩収入	5,000,000	5,000,000	0
小児外科学会総会積立預金取崩収入	6,340,000	6,340,000	0
西太平洋地区医学教育連盟会議積立金崩収入	1,000,000	1,000,000	0
アジア心臓血管麻酔学会積立預金取崩収入	500,000	0	500,000
日本体外循環技術医学大会積立預金取崩収入	100,000	100,000	0
第19回日本臨床モーター学会積立預金取崩収入	5,200,000	5,200,000	0
20周年記念事業積立預金取崩収入	13,000,000	13,000,000	0
投資活動収入計	31,140,000	30,640,000	500,000
2. 投資活動支出			
基本財産繰入支出	0	17,243,280	△ 17,243,280
投資活動支出計	0	17,243,280	△ 17,243,280
投資活動収支差額	31,140,000	13,396,720	17,743,280
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	500,000	-----	500,000
当期収支差額	2,690,000	△ 6,974,794	9,664,794
前期繰越収支差額	8,428,954	8,428,954	0
次期繰越収支差額	11,118,954	1,454,160	9,664,794

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、未収入金、未払金、仮払金、未払金、前受金、学会寄付前受金、預り金、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は下記2. に記すとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	(単位:円)	
	前期末残高	当期末残高
現 金	64,332	40,525
普 通 預 金	6,076,107	7,341,429
振 替 口 座	172,820	39,213
通 常 貯 金	3,535,846	36,432
MMF、CRF(野村)	343,013	344,661
仮 払 金	9,480	0
未 収 金	50,000	0
計	10,251,598	7,802,260
預 り 金	202,644	58,100
前 受 金	1,370,000	620,000
学会寄付前受金	0	5,670,000
仮 受 金	250,000	0
計	1,822,644	6,348,100
繰越収支差額	8,428,954	1,454,160

(九) 平成 20 年度監査報告書

平成 21 年 4 月 30 日

監 査 報 告 書

監 事 福 田 光 博

-----  
監 事 大 西 要 一

私どもは、寄附行為第 17 条6の規程に基づき、監査の結果、平成 20 年度業務の  
運営並びに執行と決算報告書は共に適法適正であると認めます。

以 上

## (十) 平成 21 年度事業計画書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

### 平成 21 年

1. 5 月 9 日(土) 平成 21 年度 JANAMEF 留学助成(A 項・B 項)の選考委員会 (於:東京)  
平成 21 年度環太平洋アジア基金留学助成の選考委員会
2. 5 月 16 日(土) 平成 21 年度第 1 回理事会・評議員会 (於:東京)
3. 6 月 1 日(月)～3 日(水) 第 46 回日本小児外科学会学術集会の助成\* (於:大阪)
4. 7 月 18 日(土)～19 日(日) 第 9 回呼吸療法セミナー in 湘南の助成\* (於:神奈川)
5. 7 月末 JANAMEF ニュース発行(Vol.34)
6. 7 月末 平成 21 年度賛助会費及び寄附金の依頼
7. 8 月 19 日(水)～26 日(水) 医学部夏期集中医学英語研修の助成 (於:米国ハワイ)
8. 9 月 10 日(木)～12 日(土) 第 8 回アジア心臓血管麻酔学会の助成\* (於:東京)
9. 9 月末 平成 21 年度 JANAMEF 助成(B 項)の後期応募締切り  
平成 21 年度環太平洋アジア基金留学助成の後期応募締切り
10. 10 月 10 日(土)～11 日(日) 第 35 回日本体外循環技術医学会の助成\* (於:大阪)
11. 10 月 23 日(金)～24 日(土) 日本最小侵襲整形外科学会の助成\* (於:神奈川)
12. 10 月 12 日(月)～18 日(日) アメリカ看護短期研修の助成 (於:米国オレゴン)
13. 10 月末 「感染症診療にみる医学留学へのパスポート」の発刊
14. 11 月 14 日(土) 日米医学医療交流セミナー ”医学留学セミナー” (於:京都)
15. 12 月末 JANAMEF ニュース発行(Vol.35)

### 平成 22 年

16. 1 月末 日米医学医療交流セミナー“看護セミナー” (於:東京)
17. 3 月 13 日(土) 平成 21 年度第 2 回理事会・評議員会
18. 3 月 31 日(火) 平成 22 年度 JANAMEF 助成(A 項・B 項)の応募締切り  
平成 22 年度環太平洋アジア基金留学助成の応募締切り
20. 3 月 31 日(火) 厚生労働省へ平成 22 年度事業計画書等の提出

\*は団体助成

## 1. 本財団平成 21 年度の事業活動

(1) 本財団の事業を広く宣伝し、賛助会員の更なる獲得に努め、個人・団体からの寄附を精力的に募る。

また変更した寄附行為に則した公益活動により事業を推進するため、常務理事会を執行部とする。

(2) 短期・長期の事業計画を立案し、具体的なプロジェクト計画を基に確実に展開する。

- a. 留学助成については、助成選考員会に諮り助成する。
- b. 学会等の助成については、そのつど具体的に内容を明らかにして常務理事会に諮り助成する。
- c. 教育研修事業については、セミナー等関連委員に諮り行う。
- d. 研修・研究・調査については常務理事会に諮り実施する。

(3) 財団の目的に合致し、財団が実行するにふさわしい事業であれば、積極的にこれを行う。

- a. 調査・研究：他団体との共催並びに協賛を行う。
- b. 出版事業等を行う。

## 2. 事業の詳細

### (1) 助成事業について

医療関係者の留学事業は本財団の最も重要な事業であり、財団設立以来の実績の真価が問われている。従って、より多くの研修生、より広い領域に助成を行うとともに卒後の活動状況にも留意する。

- a. 本財団が収集した留学に関する情報を、広く公開する。
- b. 本財団の趣旨に合致し、助成に値すると認めた学会・団体に対する助成や協賛を行う。
- c. 日本と外国間の人物交流の助成
  - ① 日本人の外国での短期医療視察への助成
  - ② 外国の医師、医療従事者及び留学生の日本への短期留学助成

### (2) 賛助会員及び寄附の募集について

本財団は、特定公益増進法人の精神に則り事業の更なる活性化をはかり、目標達成に努力する。そのため、下記のような役割分担により事業を促進する。

- a. 常務理事会による寄附依頼計画
- b. 理事・評議員による寄附依頼活動
- c. 賛助会員募集活動、会員への情報サービス、啓発活動

### (3) 教育研修事業について

教育研修の目的を達成するため、セミナー及びフォーラム、学会を開催する。

国際的な見地から最新医療への紹介、その他の医療関係の最新情報・技術の紹介、展示、実習を行う。

a. 平成 21 年度のセミナー等開催計画

- ①医師を対象とした医学留学セミナー(平成 21 年 11 月開催予定 200 名程度)
- ②看護師を対象とした看護セミナー(平成 22 年 1 月開催予定 120 名程度)
- ③その他学術・研究・調査に関連するセミナー等を行う

b. 医学関係の大学や医療関係団体の協力と業務委託等により実施する。

- ①ホームページの内容を強化し、JANAMEF フェローの声やその他の財団活動の記事を積極的に掲載する
- ②JANAMEF ニュースを発行すると共にホームページでも掲載する(年 2 回)
- ③医学留学のパスポート No9(感染症診療について)を発行

## (十一) 平成 21 年度収支予算書

科目	コード	予算額	前期予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
基本財運用収入	5110	11,800,000	22,000,000	-10,200,000	
基本財産利息収	5010	11,800,000	22,000,000	-10,200,000	
基本財産運用収	5030	0	0	0	
特定資産運用収	5120	500,000	2,000,000	-1,500,000	
特定資産利息収	5040	500,000	2,000,000	-1,500,000	
会費収入	5150	7,700,000	8,000,000	-300,000	
賛助会費収入	5120	7,700,000	8,000,000	-300,000	
事業収入	5210	600,000	5,000,000	-4,400,000	
セミナー収入	5210	600,000	5,000,000	-4,400,000	
寄付金収入	5330	56,000,000	60,000,000	-4,000,000	
寄付金収入	5400	9,100,000	60,000,000	-50,900,000	
受取学会寄付		46,900,000			
雑収入	5350	50,000	50,000	0	
受取利息収入	5450	50,000	50,000	0	
-----		-----	-----		
事業活動収入計		76,650,000	97,050,000	-20,400,000	
2. 事業活動支出					
事業費支出	6110	61,170,000	93,700,000	-32,530,000	
助成費支出	6010	47,000,000	62,800,000	-15,800,000	
セミナー支出	6030	1,000,000	12,000,000	-11,000,000	
委員会費支出	6050	400,000	2,000,000	-1,600,000	
給与手当支出	6070	2,850,000	5,000,000	-2,150,000	
雑給支出	6090	1,700,000	1,600,000	100,000	
会議費支出	6140	0	300,000	-300,000	
通信運搬費支出	6150	560,000	0	560,000	
資料印刷費支出	6160	2,000,000	2,000,000	0	
旅費交通費支出	6200	300,000	2,500,000	-2,200,000	
地代家賃支出	6290	1,760,000	0	1,760,000	
水道光熱費支出	6310	200,000	0	200,000	
諸謝金支出	6350	2,900,000	3,500,000	-600,000	
雑費支出	6590	500,000	2,000,000	-1,500,000	
管理費支出	6210	15,480,000	31,300,000	-15,820,000	
給与手当支出	6070	2,850,000	4,600,000	-1,750,000	
法定福利費支出	6110	700,000	1,000,000	-300,000	
福利厚生費支出	6130	0	100,000	-100,000	
会議費支出	6140	400,000	700,000	-300,000	
資料印刷費支出	6160	500,000	1,100,000	-600,000	
通信運搬費支出	6180	840,000	2,100,000	-1,260,000	
旅費交通費支出	6200	2,400,000	2,500,000	-100,000	
租税公課支出	6220	0	100,000	-100,000	
賃借料支出	6240	900,000	1,000,000	-100,000	
支払手数料支出	6250	200,000	600,000	-400,000	
消耗品費支出	6270	400,000	600,000	-200,000	
地代家賃支出	6290	2,640,000	5,000,000	-2,360,000	
水道光熱費支出	6310	300,000	600,000	-300,000	
調査費支出	6330	0	300,000	-300,000	
諸謝金支出	6350	2,900,000	9,000,000	-6,100,000	
雑費支出	6590	450,000	2,000,000	-1,550,000	
-----		-----	-----		
事業活動支出計		76,650,000	125,000,000	-48,350,000	
-----		-----	-----		
事業活動収支差額		0	-27,950,000	27,950,000	

II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定預金取崩収	5550	500,000	31,140,000	-30,640,000	
助成金積預崩収	5850	0	5,000,000	-5,000,000	
小児外科積崩収	5860	0	6,340,000	-6,340,000	
西太平洋教連崩収	5880	0	1,000,000	-1,000,000	
アジア心臓積崩収	5890	500,000	500,000	0	
体外循環積崩収	5900	0	100,000	-100,000	
19臨モニタ積崩収	5910	0	5,200,000	-5,200,000	
20周年記念積崩収	5930	0	13,000,000	-13,000,000	
-----					
投資活動収入計		500,000	31,140,000	-30,640,000	
-----					
2. 投資活動支出					
-----					
投資活動支出計		0	0	0	
-----					
投資活動収支差額		500,000	31,140,000	-30,640,000	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計		0	0	0	
2. 財務活動支出					
財務活動支出計		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
IV 予備費支出		500,000	500,000	0	
-----					
当期収支差額		0	2,690,000	-2,690,000	
-----					
前期繰越収支差額		1,454,160	8,428,954	-6,974,794	
-----					
次期繰越収支差額		1,454,160	11,118,954	-9,664,794	